

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S1	施策名	Nーバスの運行の見直し
担当部課	くらし文化部安心安全課	関係部課	企画政策課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2次長久手市地域公共交通網形成計画
施策開始の背景、経緯等		令和3年4月にルート再編を行う。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) Nーバスについては、無料乗車数が全体の7割を超えており、市の財政負担が年々多くなっているため、受益者負担の考え方から適正な費用負担を求める料金改定を行うことを検討する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) Nーバス利用者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) Nーバスについて、受益者負担の考え方から適正な費用負担を求めること、乗り継ぎ環境の改善、商業施設や病院への乗り入れ増加等を検討する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①					Nーバス運行の見直し				
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	Nーバス再編を4月1日付けで実施。利用者実態調査を実施。		利用者実態調査を実施。		利用者実態調査を実施。		利用者実態調査を実施。Nーバス再編の検証実施。		利用者実態調査を実施。Nーバス再編を検討。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	巡回バス運行業務負担金 100,935千円		巡回バス運行業務負担金 107,314千円		巡回バス運行業務負担金 107,314千円		巡回バス運行業務負担金 107,314千円		巡回バス運行業務負担金 107,314千円	
			N/バス利用実態把握業務委託 300千円							
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 100 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 100 人		(延べ) 100 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					料金体系の見直し				
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	令和4年4月1日改定に向けた検討及び周知を行う。		令和4年4月1日改定を実施。		料金体系の見直し状況の精査。		料金体系の検討。		料金体系の検討。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし。		特になし。		特になし。		特になし。		特になし。	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 料金体系の見直しについて、平日及び休日に全便利用者調査を行った。また、赤あつたかあと利用者に特化したアンケート調査を行った。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 利用者調査結果や、利用者聞き取りから、料金体系の見直しに伴うフリーパス・回数券の金額設定を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 料金体系の見直しを、令和4年4月1日に行った。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 運賃を運行経費で割り返した収支率について、令和2年度実績は2.8%であったが、令和4年4月1日料金体系の見直しに伴い、約9~10%程度となる見込みである。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和3年4月1日のルート再編、令和4年4月1日料金体系の見直しの状況を確認し、次回再編に向けて情報蓄積を行う必要がある。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・料金体系の見直しを含む再編や他の公共交通及び交通弱者への移動支援との連携について、地域公共交通施策全体を考慮し、引き続き取り組んでください。 ・Nーバス路線見直し後の評価をもとに、公共交通全体で今後の適切なサービス水準を検討し、一般財源の抑制が図られるよう検討してください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S2	施策名	学校プール開放事業の見直し			
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	教育総務課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪				
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市スポーツ推進計画			
施策開始の背景、経緯等	支出に対して収入(受益者負担)が少ないため、利用料金や運営方法などを見直す必要がある。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 支出に対して収入が少ないため、利用料金や運営方法などの見直しを行う。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 学校プール開放				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 利用料金、運営方法等を見直すことにより市の財政負担を軽減する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	事業廃止	事業廃止	事業廃止	事業廃止	事業廃止	事業廃止
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	—	—				
	—	—				
市民参加数・実績 (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度に事業継続について検討し、コロナ禍において更衣室利用の感染症対策が困難であることや、利用者から使用料を徴収しても財政を大きく軽減することが困難であることから、令和3年度以降事業の廃止を決定した。(市民に対しては、令和3年4月号広報及びHPで周知した。)				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) —
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) —
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) —
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) —
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S3	施策名	マラソン大会事業の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ推進計画
施策開始の背景、経緯等		参加費の有料化(受益者負担)を検討し、市の負担を軽減する。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) この大会は、「市民交流」という面を強く意識して参加料を無料としているが、受益者の負担について検討する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) マラソン大会参加者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 受益者負担について検討し、マラソン大会を有料とし、参加者に運営費の一部を負担してもらようにする。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	長久手新春ふれあいマラソン大会の実施									
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業中止	指定管理者制度導入後のマラソン大会の実施について、スポーツ推進委員と新たな運営方法について協議する								
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)					
		マラソン大会会場設営委託	—	マラソン大会会場設営委託	484千円						
		消耗品費	—	消耗品費	146千円						
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み					
		(延べ) — 人	(延べ) 2,000 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人					

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	新たな運営方法によるマラソン大会の実施									
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		スポーツ施設への指定管理者制度導入に関するサウンディング型市場調査を行った。	指定管理者の募集及び選定	スポーツ推進委員と前年度の課題を見直し、新たな運営方法について協議する	スポーツ推進委員と前年度の課題を見直し、新たな運営方法について協議する	スポーツ推進委員と前年度の課題を見直し、新たな運営方法について協議する					
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)					
		—	—	未定	—	未定	—	未定	—		
		—	—	未定	—	未定	—	未定	—		
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み					
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人					

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) スポーツ施設への指定管理者制度導入に関するサウンディング型市場調査(現地説明会・見学会：9者参加、サウンディング：3者参加)を行った。 ジブリパークの開園に伴う工事の進捗により会場が使用できるか不透明。 スポーツ推進委員は、市民の交流を重視しており有料化に否定的である。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) マラソン大会の運営を主体的に担っているスポーツ推進委員の理解を得る必要がある。 本市の新春ふれあいマラソン大会は、概ね1人当たり約500円の経費がかかっている状況をスポーツ推進委員へ説明し、参加者の受益者負担について理解を求める。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 有料化した場合、タイム計測や参加賞などその分の価値を高める必要がある。 現在は、参加料無料で実施しているが受益者負担を含めて運営方法の見直しを図る。 指定管理者と共に運営方法等について協議を行う必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 令和元年度のマラソン大会事業の決算額は1,039千円であり、参加者2,000人で計算すると1人あたりのコストは約500円である。本市の新春ふれあいマラソン大会は、概ね1人当たり約500円の経費がかかっている状況をスポーツ推進委員へ説明し、参加者の受益者負担について理解を求めることが適当である。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 長久手新春ふれあいマラソン大会は、参加費無料が大きな魅力の1つであるが、参加費及び運営方法については、スポーツ推進委員及び指定管理者を含め、令和5年度からの受益者負担に向けた協議をしていく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・人件費含め、市負担が大きくなり範囲で検討を進めてください。 ・行政改革の重要課題事業に係る「秋ヶ池体育館(管理の見直し)」に基づき、引き続き見直しに取り組んでください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S4	施策名	文化の家(管理)の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第3次長久手市文化芸術マスタープラン
施策開始の背景、経緯等	文化の家は、芸術文化の振興及び市民福祉の向上を図り、文化活動の拠点となるべく平成10年に開館し、直営で運営。行政改革の一環として、より良い公共文化施設の運営のため、管理の見直しを検討する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 指定管理制度の導入を前提に、さらなる外部委託を含めた調査、検討を行い、方針を決定した上で、新たな方策による管理を実施する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 文化の家の管理体制
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 管理系の職員の再配置を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①										管理体制の見直しの検討									
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	直営管理とする方針決定 委託業務の拡充 チケットのネット予約 使用料の改定 建物抗菌コーティング		委託業務の拡充 インターネット施設予約 チケットのコンビニ収納 システムによる省力化 職員負担の削減		委託業務の拡充 システムによる省力化		未定		未定		直営管理とする方針決定 委託業務の拡充 チケットのネット予約 使用料の改定 建物抗菌コーティング		委託業務の拡充 インターネット施設予約 チケットのコンビニ収納 システムによる省力化 職員負担の削減		委託業務の拡充 システムによる省力化		未定		未定	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	施設管理業務委託	89,057千円	施設管理業務委託	88,842千円	未定	未定	未定	未定	未定	未定	施設管理業務委託	89,057千円	施設管理業務委託	88,842千円	未定	未定	未定	未定	未定	未定
	舞台管理業務委託	29,731千円	舞台管理業務委託	36,912千円							舞台管理業務委託	29,731千円	舞台管理業務委託	36,912千円						
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②																			
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 指定管理者が運営する施設の視察や、指定管理者制度を導入した公立文化施設のあり方、文化芸術と福祉連携、地域連携を含めた文化政策のあり方について講座を通して研究するとともに、これまで行ってきた指定管理者制度の調査を経て検討した。これらを踏まえ、行政改革推進本部会議で文化の家の施設管理方針は長久手市文化芸術マスタープランに添った運営方針とし、直営管理としていくことを決定した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 委託化を拡充し、チケットや施設予約のシステム化を推進し、利便性の向上、省力化を図った。コロナ禍、補助金を活用し施設の抗菌コーティングを施工し、清掃業務の軽減を図りつつ、安心安全な施設利用に努め、高い稼働率を維持した。収支バランスの改善に向け、施設使用料、備品使用料の改定を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和3年度は、指定管理者制度の調査を経て、管理の見直しを検討し、文化の家の施設管理は長久手市文化芸術マスタープランに添った運営方針とし、直営管理としていくことを決定した。今後は、この方針のもと、委託化、システム化の強化により省力化を図り、必要最小限の市職員による直営管理を行う。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 研究した結果、財団系の指定管理では、市直営と同等以上の財源を必要とし、収益性を重視する営利企業では、コスト削減によるサービスの低下が見受けられる。地域連携を含めた文化政策を行う文化の家においては、費用対効果の面からも、委託事業を拡大した直営管理の方が、効果が高いと判断した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・令和4年度は、舞台管理等の専門的な業務などの委託を拡大し、職員の負担を削減する(民間活力の活用)。 ・施設のネット予約、チケットのコンビニ収納を開始し、利用者の利便性向上、業務の省力化、申請用紙の削減を図る。 ・決定した方針のもと、委託事業を拡大し、必要最小限の市職員による直営管理を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・現在の財政状況では、文化の家規模の施設の維持管理は大きな財政負担となっています。今後、施設の大規模な改修を行う際には、現在の施設の機能を維持していくのかを含め、検討を行ってください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S5	施策名	中央図書館（管理）の見直し
担当部課	教育部中央図書館	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 図書館法、第2次長久手市子ども読書活動推進計画
施策開始の背景、経緯等	市民の読書活動を支える場として、平成4年に開館した。これまで直営で運営している。行政改革の一環としてよりよい図書館運営のため、カウンターの一部業務委託を含めた指定管理者制度の導入を検討していく。	

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 指定管理者制度の導入に向けて、外部委託を含めた調査、検討を行い、方針を決定した上で、新たな方策による管理を実施する。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 図書館の管理体制
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 新たな方策による管理を実施することによる、市民の読書環境の向上

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	指定管理者制度の導入の検討、新たな方策による管理の実施									
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		ICシステムを導入（令和3年4月）。指定管理者制度等導入の視察、民間事業者からのヒアリングを実施、市担当部局との協議により令和6年4月からの指定管理者制度導入の方針決定。	・サウンディング型市場調査を実施（上半期） ・条例改正（下半期）	・プロポーザルによる事業者選定 ・業務引継	指定管理者制度実施	指定管理者制度の継続及び制度導入による管理運営状況の検証					
		費用・実績 （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）					
		会計年度任用職員報酬・期末手当 26,817千円 図書館ICシステム保守業務委託 264千円	会計年度任用職員報酬・期末手当 26,853千円 図書館ICシステム保守業務委託 1,260千円	会計年度任用職員報酬・期末手当 未定 1,260千円	指定管理料 未定	指定管理料 未定	指定管理料 未定	指定管理料 未定	指定管理料 未定	指定管理料 未定	指定管理料 未定
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人	（延べ） 0 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②										
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		費用・実績 （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）	費用・見込み （細々節名）（金額）					
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人	（延べ） 人

活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 全国及び県内では、約2割の図書館が指定管理者制度を導入している。導入館への視察や指定管理の受託実績のある事業者へのヒアリングを行い、令和3年度から導入したICシステムの効果を踏まえ、令和6年4月からの指定管理者制度導入を決定し、図書館運営協議会で方針とスケジュールについて説明をした。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 図書館業務を詳細に確認し洗い出しを行い、指定管理者と市で担う業務に振り分けて指定管理者への仕様書の作成を進めている。事業者へのヒアリングは今後も必要。
------	--------	--

評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） 平成29年度に実施した管理運営検討委員会では、「直営がふさわしい」という答申がなされており、市民（図書館運営協議会委員など）から指定管理者制度導入に対する懸念などがあげられていることを念頭に、サービスの低下などにつながらないように、堅実な仕様書の作成を進め予算化する。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 指定管理者制度を導入することによる、現在のサービスの維持に加えて民間の新たなサービスの提供などのメリットと、それにかかる指定管理料などの費用面の検証を行い、仕様書に反映させていく。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 令和6年4月からの指定管理者制度導入に向けて、令和4年度はサウンディング型市場調査及び条例改正を実施し、令和5年度中に事業者選定及び業務引継を実施する。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S6	施策名	秋ヶ池体育館(管理)の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想
施策開始の背景、経緯等		経費削減及び人員配置適正化の観点から、運営方法の見直しを行う必要がある。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 民間事業者の持つノウハウを活かし、市民サービスの向上、経費削減及び人員配置適正化から指定管理者制度を導入する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 秋ヶ池体育館
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民がよりスポーツを楽しめる施設となるよう、民間活力を活かした指定管理者制度を導入する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		秋ヶ池体育館(管理)の見直し									
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)			
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標			
	施設修繕工事 指定管理者制度導入に関するサウンディング調査		施設修繕工事 指定管理者の公募、選定委員会		施設修繕工事 指定管理者による運営		施設修繕工事 指定管理者による運営		施設修繕工事 指定管理者による運営			
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)			
	長寿命化工事 管理委託		1,925千円		長寿命化工事 17,413千円		未定		—		未定	
	長寿命化工事		47,861千円									
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み			
	(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②											
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)			
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標			
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)			
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み			
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人			

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) スポーツ施設への指定管理者制度導入に関するサウンディング型市場調査(現地説明会・見学会:9者参加、サウンディング:3者参加)を行った。 使用料に関して、長久手市体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正を行った。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和5年度から指定管理者制度を導入する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 施設が老朽化しているため、改修工事を計画的に行う必要がある。 指定管理者制度を導入するためには、関係団体等の大会、教室、減免、各種委託契約業務等の調整が必要となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 指定管理料を試算し、経費削減及び人員配置の適正化に資すると判断した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和5年度から指定管理者制度を導入する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S7	施策名	テニスコート管理事業の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想
施策開始の背景、経緯等	維持管理費に対して使用料収入が少ない。借地に多額の経費が必要なことから、用地の返却等について検討が必要である。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 借地の返却等を検討し、市の負担を軽減する。合わせて使用料の適正化に向けた見直しを行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 菖蒲池テニスコート
	施策の意図	将来に渡って負担となる借地料を圧縮する。また、使用料を見直し、市の財政負担を軽減する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	テニスコート管理事業(菖蒲池)の見直し										
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)						
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標						
		・令和5年度まで土地所有者と借地料を無償とする契約を締結した。 ・長久手市使用料及び手数料条例の一部を改正した。	・令和5年度まで土地所有者と借地料を無償とする契約を締結した。 ・新使用料で運用を開始した。	地権者との契約等を考慮しながら、スポーツの社への集約化について検討する。	地権者との契約等を考慮しながら、スポーツの社への集約化について検討する。	地権者との契約等を考慮しながら、スポーツの社への集約化について検討する。						
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)					
		菖蒲池テニスコート賃借料	—	—	—	—	未定	—	未定	—		
		市民参加数・実績 (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) — 人	市民参加数・見込み (延べ) — 人					

目標・成果推移等②	施策に係る取組②											
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)						
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標						
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)									
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人									

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 地権者と協議し、令和3年度から令和5年度までの無償借地契約を締結した。その後の賃借料については、改めて協議することとなっている。 令和4年4月から長久手市使用料及び手数料条例の一部改正を行った。 令和5年4月から指定管理者制度を導入し、民間事業者が効果的、効率的な管理運営を行う。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 地権者と協議し、令和3年度から令和5年度までの無償借地契約を締結した。 使用料の見直しに伴い、長久手市使用料及び手数料条例の一部を改正した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 長久手市体育施設及び管理に関する条例の一部を改正し、令和4年4月から適用した。 地権者と協議し、令和3年度から令和5年度までの無償借地契約を締結し、年間約11,000千円削減することができた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 借地料を年間約11,000千円削減することができた。 使用料の見直しに伴い、長久手市体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正し、受益者負担の適正化を図った。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 地権者との無償借地契約ができなくなれば、返却となるため、テニスコートは、令和5年度に策定するスポーツ施設再整備構想にスポーツの社への集約化を盛り込む。 令和5年4月から指定管理者制度を導入し、効果的、効率的な管理運営を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S8	施策名	スポーツの杜管理事業の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想
施策開始の背景、経緯等	平日の昼間の時間帯の利用が少なく、支出に対して収入が少ない。 借地に多額の経費が必要であるため、公有地化を含め管理運営の方法について検討する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 長期に用地を借用して多額の経費がかかるため、公有地化について検討する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) スポーツの杜
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 用地の取得(公有地化)

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	スポーツの杜管理事業の見直し							
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標		成果・目標		
		用地購入費の必要額を把握するための不動産鑑定評価業務を実施した。	方針決定	市の方針決定による地権者との協議 指定管理者制度導入	指定管理者による管理運営		指定管理者による管理運営		
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		
		不動産鑑定評価業務委託 495千円	スポーツの杜借地料 31,775千円	スポーツの杜借地料 31,775千円	未定	—	未定	—	
		スポーツの杜借地料 31,775千円							
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		
		(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人		(延べ) — 人		

目標・成果推移等②	施策に係る取組②								
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標		成果・目標		
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人		(延べ) 人		

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 用地買収のための不動産鑑定評価の業務委託を行い、評価額を算定した。 使用料に関して、長久手市体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正を行った。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 不動産鑑定評価において、取得に必要な額を把握した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 借地の公有地化に向け、現契約終了(令和5年度末)までに方向性を決め、地権者と協議を行う。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 公有地化は、短期的には、一時的に多額の取得費用が必要となるため、長期的な視点を持つ必要がある。先ず、地権者が買収への交渉に応じるか不透明である。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 不動産鑑定評価により用地費の必要額が把握できたことから、令和5年度に今後の方針決定を行う。 令和5年4月から指定管理者制度を導入し、効果的、効率的な管理運営を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S9	施策名	児童遊園等管理事業の見直し		
担当部課	建設部みどりの推進課	関係部課	子ども未来課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち			
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	無			
施策開始の背景、経緯等	現在借地料として年間3,900,671円の支払いをしている児童遊園について、利用率等により必要性を再検討するため。				
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 各児童遊園の必要性を再検討し、借地の返却、購入等を行う。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 児童、児童遊園			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 必要性の低い児童遊園を撤廃し、児童遊園に係る借地料や管理費を削減する			
目標・成果推移等①	施策に係る取組①				
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)
	成果・実績		成果・目標		中期(おおよそ3年後)成果・目標
	土地の取得、返却又は売却をする場合の調査、試算、また、利用状況の調査を実施し、この調査、試算を踏まえ方針決定する。		地元自治会や近隣住民への協議を行い、下井堀児童遊園の廃止する。		都市公園との統合、廃止(借地の返却、市有地の売却等)、取得(借地の取得)等を実施し、整理を行う。
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)
	児童遊園借地料	3,901千円	児童遊園借地料	3,901千円	児童遊園借地料
	除草・剪定等委託 トイレ等清掃委託	3,120千円	除草・剪定等委託 トイレ等清掃委託	3,227千円	除草・剪定等委託 トイレ等清掃委託
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②			
R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)	
成果・実績		成果・目標		中期(おおよそ3年後)成果・目標	
費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	
市民参加数・実績		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
(延べ) 人		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人
活動状況	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 利用率状況調査及び地元自治会等を対象としたアンケート結果を実施し、児童遊園の総合評価を決定した。総合評価の結果をもとに、下井堀児童遊園を廃止することとなった。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 地元自治会及び近隣住民への説明が必要。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 地元自治会へ廃止の説明を行う必要がある。児童遊園の統廃合を行う場合に必要となる手続き(条例改正や県への協議等)のスケジュール調整も必要。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 地元自治会等への説明後、遊具の撤去等を行う。遊具の撤去や児童遊園の廃止によって点検費用や除草等の維持管理費の削減が見込める。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 下井堀児童遊園を廃止し、その他の児童遊園についても総合評価を元に整理を行う。
内部意見	総合計画担当、財政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S10	施策名	セーフティステーション防犯事業の見直し			
担当部課	くらし文化部安心安全課	関係部課				
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち				
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	無				
施策開始の背景、経緯等	犯罪件数の減少により、セーフティステーションが一定の役割を終えたと考え、地域の自発的な防犯活動への推進に重点をおく考えから、見直しを検討する。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 犯罪件数の減少により、セーフティステーションが一定の役割を終えたとし、地域の自発的な防犯活動推進を進めている。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) セーフティステーション及び会計年度任用職員				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 嘱託職員(2人/日)によるパトロールの廃止の検討及びセーフティステーション建物の利用方法の検討を行い、地域防犯活動へ移行する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①					
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	市のパトロール体制の見直し 地域組織への連携した防犯体制の検討	市と地域組織が連携した防犯体制の検討	市と地域組織が連携した防犯体制の検討	市と地域組織が連携した防犯体制の検討	市の防犯体制の見直し	
	費用・実績 (細々節名) (金額) 会計年度任用職員報酬 7,601千円	費用・見込み (細々節名) (金額) 会計年度任用職員報酬 3,996千円	費用・見込み (細々節名) (金額) 会計年度任用職員報酬 3,996千円	費用・見込み (細々節名) (金額) 会計年度任用職員報酬 3,996千円	費用・見込み (細々節名) (金額) 会計年度任用職員報酬 3,996千円	
	市民参加数・実績 (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 10 人	市民参加数・見込み (延べ) 10 人	市民参加数・見込み (延べ) 10 人	市民参加数・見込み (延べ) 10 人	
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	セーフティステーションの跡地利用の方針決定分筆等の実施 不動産鑑定評価実施。	セーフティステーション用地及び家屋の売却を実施。				
	費用・実績 (細々節名) (金額) 公共嘱託登記業務委託 638千円 不動産鑑定委託 286千円	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	
活動状況	活動エピソード (活動のエピソード、コメント、特記事項など) 安心メール等の不審者の情報があつた場合、重点的にパトロールを実施している。 青パトロールカーの貸出について、自主防犯団体等に説明を順次行っている。					

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 青パトロールカーの貸出について、周知が必要である。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和4年度中にセーフティステーション用地及び家屋の入札から引き渡しまでを行う予定である
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) セーフティステーション廃止及び地域との防犯体制連携に伴い、会計年度任用職員の雇用人数が減った。R3:4名→R4:2名
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など)
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S11	施策名	事務(労務管理事務、各種入力事務等)の外部委託	
担当部課	総務部行政課	関係部課	人事課、市民課、税務課、保険医療課、子ども未来課、行政課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進		
	法定受託事務の有無	無		
	その他(関係計画、要綱等)	有 行政改革の重要課題事業【第2弾】		
施策開始の背景、経緯等	労務管理等の各種入力業務を外部委託することで、職員の間外勤務の削減や人件費の削減につなげていく。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 労務管理事務、各種入力事務、選挙事務等のアウトソーシング(外部(派遣)委託)を推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 労務管理事務、各種入力事務、選挙事務等
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) アウトソーシング(外部(派遣)委託)の推進により人件費の抑制、定型業務のコストの固定(縮減)化を図る。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	市直営と外部委託の比較検討、方針決定				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	事務のマニュアル化や近隣市町等の状況を踏まえ、外部(派遣)委託の実施の方針を決定する。	予算要求事務	実施	-	-	
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	特になし	特になし	委託費 未定			
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	労務管理システムの導入【人事課】				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	庶務システムと連携した会計年度任用職員システム等を導入しており、人事課における各種入力にはほぼなくなっているため、外部委託は不要。	システム更新予定	-	-	-	
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	システム使用料 3,199千円	システム使用料 2,400千円	システム保守委託 3,341千円	システム保守委託 3,341千円	システム保守委託 3,341千円	
	システム保守委託 2,310千円	システム保守委託 2,569千円				
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	

目標・成果推移等③	施策に係る取組②	レセプト点検業務の外部委託実施【保険医療課】				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	委託を開始	委託を継続する	委託を継続する	委託を継続する	委託を継続する	
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	レセプト二次点検業務委託 1,394千円	レセプト二次点検業務委託 1,119千円	レセプト二次点検業務委託 1,119千円	レセプト二次点検業務委託 1,119千円	レセプト二次点検業務委託 1,119千円	
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・保育園の当初入園申込は500~600件程度であり、確認も含め窓口業務と並行して実施しても、1週間弱で入力可能であり、外部委託の効果は得られにくいと判断した。【子ども未来課】 ・当初課税事務補助作業:事務改善により会計年度任用職員の雇用人数を6人から5人に削減した。確定申告会場事務の派遣委託:会場運営の見直しにより派遣職員人数を10人から9人に削減した。償却資産申告書の入力:会計年度任用職員の雇用人数を2人から1人に削減して行った結果、外部委託せずに対応できることを確認した。【税務課】
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・データ入力等の精度及び質を維持、向上させるとともに、費用対効果を考慮した上で、データ入力等を行う会計年度職員の雇用事務を効率化すると考える。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ・証明書の交付(郵便申請を含む)については、本市ではコンビニ交付システムを導入しているため、同システムで使用するマイナンバーカードの普及が進むことにより窓口及び郵便での申請が減少する可能性がある。【市民課】
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 検討にあたっては、直接支払う人件費だけでなく、人事管理事務にかかる職員の時間数や人件費も考慮する必要がある。【人事課】
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 正規職員の定数だけでなく、再任用職員や会計年度任用職員全体の人事管理のための手法を検討する。【人事課】
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
	内部意見への回答	

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S12	施策名	保育園の民営化			
担当部課	子ども部子ども未来課		関係部課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち				
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2期 長久手市子ども・子育て支援事業計画				
施策開始の背景、経緯等	女性就業率の拡大等による保育園の需要の拡大に対応するため、保育施設の新設や拡充により対応しているが、年々保育園費が増加している。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 保育園費は、待機児童として保育施設を増やしていることから大幅に増加している。中でも公立保育園の運営費は、すべて市の負担となっており、民営保育園は国が2分の1、県が4分の1を負担しており、財政負担の軽減のため必要となっている。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 公立保育園				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 保育施設の民営化に伴う運営費や整備費の抑制				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	保育園の民営化				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	保育施設の整備計画の策定	保育施設の整備計画の策定 長湫東保育園の改築及び民営化の検討		長湫東保育園の改築及び民営化の検討	長湫東保育園の改築及び民営化の実施	長湫東保育園の改築及び民営化の実施
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		0千円	小規模保育事業整備費補助金 16,500千円			
	市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	
	活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長湫東保育園の移転場所について、複数箇所の検討を行ったが、現在の長湫東保育園の近隣で、同等の広さや機能を維持できる場所はなかった。			

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 長湫東保育園の移転については、機能をそのまま移す以外の方法も検討する必要があるため、保育所整備計画の期間についても延長し、検討する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 整備計画を策定し、その後の保育所整備にあたる必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 保育園は民営となると給付費が国、県から3/4補助されるため、費用的な効果はあるが、運営者となる民間保育所を公募するため、実施場所などの条件の検討が必要。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) コロナ禍の中、保育所の申込者数が減少するなど、今後の保育需要についても、検討しながら保育所整備計画について検討していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・民営化に伴う運営費や整備費の抑制による効果を確認し、取り組んでください。 ・これまでの民間活用(指定管理の導入)や民設民営保育園などの保育行政全体の振り返りを行いつつ、今後の整備計画に取り組んでください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S13	施策名	放課後児童健全育成事業の民間活用及び類似事業との整理
担当部課	子ども部子ども未来課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2期 長久手市子ども・子育て支援事業計画
施策開始の背景、経緯等	放課後の居場所に関する事業については、利用ニーズが増加傾向かつ多様化しており、市が全てのニーズに直接対応することは困難になってきているため、民間資源や市民を活用した運営の取り入れを検討する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ・民間事業者を活用した放課後児童クラブの運営 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討 ・放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)及び利用者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の居場所事業における民間事業者の活用及び事業統合

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	民間事業者を活用した放課後児童クラブ等の運営				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		民間事業者の活用に向けた公募条件の検討、場所の選定、補助内容の検討、サウンディング調査	民間事業者の活用に向けた公募条件の検討、場所の選定、補助内容の検討、サウンディング調査	新・放課後子どもプラン 民営事業者の選定		
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし		
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・放課後の居場所事業の統合に向け、具体的な事務に取り組む。 ・学童保育所:保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しに向けた検討を行う。 ・新・放課後子ども総合プラン実現に向けて現状の把握と先進地視察 ・学童保育所:保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しに向けた検討を行う。 ・学区を限定した新・放課後子どもプランの実施 ・全学区における新・放課後子どもプランの実施				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		児童クラブ 事業委託	84,363千円			
		会計年度任用職員報酬	55,094千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・放課後の児童の居場所等の類似事業を整理し、新・放課後子どもプランの全校区の実現に向けた検討を行う。 ・放課後の児童の居場所事業については、児童クラブ9か所(うち1か所はR2年度中に閉所)、学童保育4か所(うち3か所は分室運営)、放課後子ども教室4か所、待機児童が多い学区では児童館下校を実施している。 ・学童保育所保護者会との意見交換会において、今後の交換会にて、保護者会以外の運営形態の検討を話し合いたい旨の投げかけを行った。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 放課後の児童の居場所事業について、放課後の預かり事業(児童クラブ、学童保育所)においては、市民ニーズが多様化していること、事業の実施場所や人材確保が困難であるため、現在の運営形態のままでは拡充が難しい。また各事業の違いが分かりにくいことから、放課後子ども教室においては、本来の目的ではない利用者が一定数発生している。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 待機児童が発生する中で、児童数の増加が見込まれる小学校区や、共働き世帯の増加も見込まれるなど、今後もニーズは増加傾向が続くと予測しているため、受入数の拡充が必要である。また、実施事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の違いが市民には分かりにくいという課題がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 既存の事業を整理を行うこと、民間事業者による運営により、児童の居場所の確保を含めて新たなサービスが期待できる。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・民間事業者を活用し新・放課後子どもプラン(一体型)に即した放課後の居場所づくりの検討と実証実験を進める。 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討や児童クラブとの利用料の平準化について調整を行う。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	今後の制度設計にあたっては、放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)全体での市負担も比較検討してください。
------	--------------------	---

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S14	施策名	職員の時間外勤務の削減			
担当部課	市長公室人事課		関係部課	全課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	8 職員の働き方改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 行政改革の重要課題事業【第2弾】、特定事業主行動計画				
施策開始の背景、経緯等	令和元年度より、働き方改革関連法案が施行され、時間外勤務時間の上限が設定されることから、職員のワーク・ライフ・バランスを推進し、時間外勤務の削減を目指す。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 業務の見直しも含めた時間外勤務の削減				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ワーク・ライフ・バランスがとれた、職員がいきいきと働ける職場の実現				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	全庁一斉の定時退庁日、各課での定時退庁日の実施の徹底				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		全庁一斉の定時退庁日が徹底できている課等の割合 86.7%	全庁一斉の定時退庁日が徹底できている課等の割合 92.5%	全庁一斉の定時退庁日が徹底できている課等の割合 95%	全庁一斉の定時退庁日が徹底できている課等の割合 95%	全庁一斉の定時退庁日の増加
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績 (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	各課による時間外勤務時間の確認と検証				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		各課での前年度実績との比較・検証を行うと共に職員1人、1月当たりの時間外勤務時間13.1時間未満	各課での前年度実績との比較・検証を行うと共に職員1人、1月当たりの時間外勤務時間10.0時間未満	各課での前年度実績との比較・検証を行うと共に職員1人、1月当たりの時間外勤務時間10.0時間未満	各課での前年度実績との比較・検証を行うと共に職員1人、1月当たりの時間外勤務時間10.0時間未満	各課での前年度実績との比較・検証を行うと共に職員1人、1月当たりの時間外勤務時間10.0時間未満
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		時間外勤務手当 101,830千円	時間外勤務手当 123,600千円	時間外勤務手当 —	時間外勤務手当 —	時間外勤務手当 —
		休日勤務手当 3,787千円	休日勤務手当 4,120千円	休日勤務手当 —	休日勤務手当 —	休日勤務手当 —
	市民参加数・実績 (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 毎月給与支給日、ボーナス支給日、県下一斉定時退庁日に全庁一斉定時退庁を実施 年15回				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 時間外勤務を制限するだけでは、ワーク・ライフ・バランスがとれた、いきいきと働ける職場にはつながらない。各職員の気づきをきっかけとした業務の見直しや廃止による事務量の削減が必要である。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 人件費も限界にきているため、人員増による対応は困難になっているので、業務の見直しや廃止による事務量の削減に取り組む必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 職員を増やせば、人件費は増加するが、1人、1月当たりの時間外勤務時間は減少する。人件費を増やさず、業務量の削減に取り組む必要がある。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、他の自治体の取組も参考にしながら、各課で業務分担や業務の見直しに取り組むとともに、計画的な年休取得もあわせて、ワーク・ライフ・バランスがとれた、職員がいきいきと働ける職場の実現を目指す。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・財政計画と定員適正化計画との連動を図るなど、人件費の縮減に向けた取組を検討してください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S15	施策名	広報全体の見直し
担当部課	市長公室情報課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等		行政情報を市民に正確に伝達し、まちづくりへの参加・協力への機運を高めるために実施している。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 広報紙の情報量が多すぎる中、市が伝えたい重要な内容(施策の周知等)を他の情報に埋もれさせることなく市民に伝える。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ほしい人にほしい情報を届け、興味関心を引く市政情報発信することにより、市民主体のまちづくりの進展に寄与する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	広報紙以外の媒体の活用				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		SNS活用(497件) マスメディア掲載件数(133件)	SNS活用(600件) マスメディア掲載件数(140件)	SNS活用(650件) マスメディア掲載件数(150件)	SNS活用(700件) マスメディア掲載件数(160件)	SNS活用(750件) マスメディア掲載件数(170件)
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・見込み(延べ) 0 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	広報ながくてのページ削減				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		全体のページ数 20ページ	全体のページ数 22ページ	全体のページ数 18ページ	全体のページ数 16ページ	全体のページ数 16ページ
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		印刷製本費 12,232千円	印刷製本費 13,653千円	印刷製本費 11,867千円	印刷製本費 10,986千円	印刷製本費 10,986千円
		市民参加数・見込み(延べ) 97 人	市民参加数・見込み(延べ) 100 人	市民参加数・見込み(延べ) 110 人	市民参加数・見込み(延べ) 120 人	市民参加数・見込み(延べ) 130 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 広報紙については、限られた紙面のなかで、市が進めている「市民主体のまちづくり」をより一層推進するため、また、市が抱える課題に対して市民に関心を持っていただくため、掲載する情報を取捨選択し、特に市が重要な課題として認識している記事を多く掲載した。SNSの活用については、中部電力と協力して「子育て支援アプリ」を用いた情報発信に取り組んでいる。また、令和4年1月から市公式LINE利用し、新型コロナウイルスに関する情報を配信できるようにした。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 情報課による取材記事の掲載や読み手の興味を引く内容及び構成に苦勞した。また、令和2年2月号から「平成こども誌」に関する情報を削り、令和2年5月号から「子育ての広場」、「スポーツガイド」、「文化の家」に関する情報を削り、情報のスリム化を図った。また、中部電力と協力して実証実験を行っていた「子育て支援アプリ」について同年11月から本格配信を開始した。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 媒体に応じ、広報する情報の整理を行ったが、広報紙の紙面構成を変更して2年が経過するため、情報発信担当課である関係課を集め、現状の広報活動における課題について検討し、改善していく。また、市公式LINEについて、現在新型コロナウイルスに関する情報のみ配信しているが、それ以外の情報の配信について検討していく。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 掲載する情報の取捨選択は、読み手の興味関心に大きく影響し、また、ページ数の増減に関わり、費用にも影響する。令和3年度はコロナ禍によりイベント数が大きく減少したため、掲載ページが少なかったが、イベントが増加することによってページ数が維持できるように努め、コロナ禍前(令和元年度)に比べ5年間で約400万円削減を目指す。また、情報の内容により伝えたい相手に応じて、媒体を変え、費用がなるべくからない媒体で発信できるよう調査研究する。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 市民がほしい情報や興味を引く市政情報を発信するため、広報紙においては掲載する情報を厳選することとし、その他の媒体による広報のあり方については情報の内容に応じた、かつ、なるべく費用をかけないものを調査研究する。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S16	施策名	ペーパーレス化の拡大
担当部課	市長公室情報課	関係部課	議事課・行政課・財政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等		合理的・効率的な行政運営の推進

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 合理的・効率的な行政の運営を推進していく中、なるべく会議で使用される紙の量を少なくしていく取り組みである。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員等が紙媒体を使用する業務
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 決裁の簡素化やペーパーレス会議を導入し、ペーパーレス化を推進することによって、コストの削減、業務効率の向上、セキュリティ対策強化を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	ペーパーレス会議の拡充				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		ペーパーレス会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務
		開催会議数・実績	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み
		(延べ) 125 会議	(延べ) 130 会議	(延べ) 135 会議	(延べ) 140 会議	(延べ) 145 会議
		紙削減枚数・実績	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み
		(延べ) 44,003 枚	(延べ) 45,000 枚	(延べ) 47,000 枚	(延べ) 49,000 枚	(延べ) 51,000 枚

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	議会のペーパーレス化の実施				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		ICT化の方針決定議案等のペーパーレス化の実施(議員)	議案等のペーパーレス化の実施(議員)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		会議システム使用料 163千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円
		紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数
		①のうち 8,960枚	①のうち 11,000枚	①のうち 13,000枚	①のうち 15,000枚	①のうち 17,000枚
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) DX推進計画を策定し、主要取組事項として「ペーパーレスの推進」を位置づけ個別の方策を進めていくこととした。コロナウイルス対策で他団体もWeb会議を導入しており、今後もWeb会議化の浸透に伴いペーパーレス化による紙コストの削減についても増加が期待できる。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 認証機器の更新に伴い、全職員端末を無線LANでLGWANIに接続できるようにした。また、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し電子黒板を5台会議室に導入した。これにより気軽にどの職員でもペーパーレス会議を行うことができるようになった。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 無線LANの導入と電子黒板により、ペーパーレス会議が普及し始めた。ウェブ会議については運用時にトラブルも多く、リテラシーの向上が必要。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ペーパーレス会議システムでは、紙を減少させることによる資料代、資料の印刷、準備、廃棄にかかる人件費を削減することができる。また、Web会議システムは年間57千円の有料アカウントを利用することによって、会議が有効的に開催できるため、費用対効果は高いといえる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) Zoom等のWeb会議システムを使用することによって、職員の業務効率化やペーパーレス化を推進していく。
----	------------	---

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当	・引き続き、印刷コストや紙資源使用の削減が図られるよう取り組んでください。
------	-------------------	---------------------------------------

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S17	施策名	普通財産の有効活用			
担当部課	総務部財政課		関係部課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市普通財産売却し事務取扱要綱				
施策開始の背景、経緯等	長期間ずっと利用していない普通財産について、毎年管理費が発生している。これらを削減し財政負担を軽減したい。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 現在使っていない、また使う見込みもない普通財産について、毎年管理費が発生している。そのような土地を賃貸または売却することで管理費用の負担をなくし、賃貸料や売却費用を財源とする。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 未利用の普通財産				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 未利用の普通財産を有効に利用する(売却・賃貸)				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	賃借・売買のための入札				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・仏が根112売却 ・西原18番5、段の上102番5売却	・横道(菅池)プロボを行う ・セーフティステーション入札を行う	その他の活用の見込みのある土地があれば順次検討していく	その他の活用の見込みのある土地があれば順次検討していく	その他の活用の見込みのある土地があれば順次検討していく
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		土地及び建物 売払収入	194,619千円	未定	未定	未定
		市民参加数・実績 (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 0 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	普通財産台帳に詳細な情報を追記、グループ分けを行う				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		普通財産台帳に詳細な情報を追記、グループ分けを行った	-	-	-	-
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし				
		市民参加数・実績 (延べ) 0 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 2箇所(仏が根、西原)の普通財産を売却するため入札を実施した。仏が根は入札により売却が成立、西原については入札が不調となったが、その後先着による公募を実施し、売却が成立した。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 今後も売却事務を円滑・統一的に進められるように、入札～契約～所有権移転までのガイドライン(フロー)を作成した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 昨年度2ヶ所の普通財産について売却が成立したが、残りの普通財産は狭小や未接道等、活用が困難な土地となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ・仏が根112 : 178,469,100円で売却 ・西原18番5、段の上102番5 : 16,149,812円で売却
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後は事業終了に伴い、行政財産から普通財産となる土地の賃貸・売却を検討していくことが主となる。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S18	施策名	地域集会所の利用方法や所有形態の見直し
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等		集会所を管理している一部の自治会が弱体化してきており、集会所が効率的に使用されていない箇所がある。また地域共生ステーションと利用形態の重複がある。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 地域ごとの実情に合わせた集会所の有効活用を行い、世代間や地域のつながりの強化を図る。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) まちづくり協議会、自治会、地域共生ステーション、集会所
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 世代間や地域のつながり強化

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、地域のつながりの強化を図る。				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。(集会所と他施設の統廃合)	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	下山集会所、打越集会所の利用検討				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		①【下山集会所】 旧下山児童館を下山集会所として活用する。 ②【打越集会所】 公共施設マネジメント推進作業部会で協議	下山集会所を解体する。地域と協議を行い、集会所の適切な維持・管理を行う。	地域と協議を行い、集会所の適切な維持・管理を行う。	地域と協議を行い、集会所の適切な維持・管理を行う。	地域と協議を行い、集会所の適切な維持・管理を行う。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ①【下山集会所】 下山自治会からの集会所建て替え要望に対し、旧下山児童館の跡地利用を提案し、地域と協議を重ね、旧下山児童館を下山集会所として利用することを確認した。令和3年度に下山自治会と集会所の管理契約を締結し、令和4年度に集会所(旧下山児童館)のトイレ等の改修工事、旧下山集会所の解体工事を実施する予定。 ②【打越集会所】 自治会長とシニアクラブ会長と市で意見交換を行いました。施設利用層や利用方法が異なることから統廃合については否定的でした。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ①【下山集会所】改修工事を行う。 ②【打越集会所】引き続き、協議を継続する。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ①【下山集会所】 評価 下山集会所と旧下山児童館の統廃合ができた。 【全体】 ・管理運営母体である自治会の加入率低下
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 効率的に使用し、使用頻度を高めることで、集会所の活用を通じて世代間や地域のつながりの強化が図られる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) まちづくり協議会はじめ、市民が主体となり、地域ごとの実情に合わせた有効活用を協議していく支援を行う。
----	------------	--

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当	
------	-------------------	--

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S19	施策名	老人憩の家の利活用と管理方法の見直し			
担当部課	福祉部長寿課	関係部課	財政課、たつせがある課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち				
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市老人憩の家の設置及び管理に関する条例、同施行規則			
施策開始の背景、経緯等	施設の老朽化が進む中で、使用頻度が少ない地域や近接する地域集会所との利用の棲み分けができておらず、有効活用を検討する必要性が生じている。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市内に7カ所ある老人憩の家は、高齢者の心身の健康増進を目的に整備されたが、対象者が限定的であり、使用頻度が低い箇所もあることから、多世代が多様な目的に利用できる地域の交流の場として活用することができるようにする。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 「65歳以上の高齢者」以外の世代、老人憩の家				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多世代が多目的に利用することができる地域の交流の場とし、施設の稼働率を向上させる。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大				
		R3年度(2021) 成果・実績	R4年度(2022) 成果・目標	R5年度(2023) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
	地域集会所と隣接する憩の家における地元関係者の意見聴取	各憩の家管理者からの意見聴取	ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用の実施	ソフト面での有効活用の実施	
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021) 成果・実績	R4年度(2022) 成果・目標	R5年度(2023) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人
	活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 若老人憩の家と打越集会所が隣接しているため、憩の家管理者(シニアクラブ代表者)と集会所管理者(自治会長)と担当課(財政課、たつせがある課、長寿課)により、双方の有効活用及び統廃合に関する意見交換を行ったが、両当事者から相互の有効活用に対して前向きな意見が得られなかった。また、いずれも維持管理コストが小さいことから、統廃合によるコストメリットは見いだせなかった。			

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) いずれの憩の家においても、コロナ禍により定員や行為制限を設けた中での運用をしていることから、具体的な有効活用の検討が難しい状況である。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 駐車場が十分に確保されている施設がなく、利用を呼びかける対象範囲が限定的となる。老人憩の家の管理を委託し日常的に使用しているシニアクラブとの綿密な調整が必要となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 隣接する憩の家と集会所の統廃合について検討したが、いずれも維持管理コストが小さいことから、改修や解体にかかるコストが大きく、コストメリットはあまり得られないと思われる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 各老人憩の家の管理者(シニアクラブ代表者)に対して、ソフト面を中心とした有効活用策の聞き取りを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S20	施策名	高齢者の在宅介護事業、日常生活支援事業の見直し
担当部課	福祉部長寿課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市紙おむつ助成事業実施要綱、訪問理美容サービス事業実施要綱等
施策開始の背景、経緯等	在宅介護支援事業及び日常生活支援事業について、当初の事業目的からの乖離や他市町の同種サービス水準とのバランスを鑑みて、事業内容を見直す。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 在宅介護支援事業及び日常生活支援事業について、対象者、対象要件及び限度額等を見直し、制度の適正化を図る。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 紙おむつ事業、訪問理美容サービス事業、緊急通報システム事業、寝具洗濯乾燥事業、家具転倒防止事業、高齢者防犯対策事業、高齢者住宅改修事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 他市町のサービス水準を踏まえて、当初事業目的との整合を図るとともに支出の削減に繋げる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	在宅介護支援事業の見直し										
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)						
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標						
		R2に改正した内容を一部経過措置で運用し、R4からの本格導入を準備	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施						
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)						
		紙おむつ助成事業	6,155千円	紙おむつ助成事業	5,608千円	紙おむつ助成事業	5,608千円	紙おむつ助成事業	5,608千円	紙おむつ助成事業	5,608千円	
		訪問理美容サービス事業	252千円	訪問理美容サービス事業	338千円	訪問理美容サービス事業	338千円	訪問理美容サービス事業	338千円	訪問理美容サービス事業	338千円	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み						
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人						

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	日常生活支援事業の見直し										
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)						
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標						
		R2に改正した内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施						
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)						
		寝具洗濯乾燥事業	94千円	寝具洗濯乾燥事業	126千円	寝具洗濯乾燥事業	126千円	寝具洗濯乾燥事業	126千円	寝具洗濯乾燥事業	126千円	
		高齢者住宅改修事業	269千円	高齢者住宅改修事業	900千円	高齢者住宅改修事業	900千円	高齢者住宅改修事業	900千円	高齢者住宅改修事業	900千円	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み						
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人						

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 近隣市町の同種サービスの実施状況を調査し、令和2年度に対象者や対象要件、限度額の見直しを実施した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和3年度から対象要件や上限額を厳格化し、支出の抑制を達成した。 住宅改修事業 R2年度2,329千円→R3年度269千円 寝具洗濯乾燥事業 R2年度1,232千円→R3年度94千円
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和2年度に各種サービスの要件等を見直し、令和3年度から一部実施、令和4年度から本格実施をしており、着実に成果を残している。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) サービス利用による実績値は把握できるが、利用による効果の測定ができていない。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 改正内容を引き続き実施していく。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S21	施策名	高齢者の福祉事業、優待事業の見直し			
担当部課	福祉部長寿課		関係部課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市高齢者文化施設優待事業実施要綱、あったかあど交付要綱等				
施策開始の背景、経緯等	利用者の偏りが見られる事業がある。 市民主体の事業へ移行する必要がある。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 事業の統廃合や事業主体の見直しを行う。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者文化施設優待事業、高齢者外出促進事業、敬老事業、長生学園事業				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民協働の拡大を推進する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	福祉事業の見直し				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	R2改正内容の実施	改正内容の実施 長生学園及び敬老事業 催事の実施方法等の検討	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
	敬老事業	2,813千円	敬老事業	3,439千円	敬老事業	3,439千円
	長生学園事業	18千円	長生学園事業	2,258千円	長生学園事業	2,258千円
市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み		
(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人		
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	優待事業の見直し				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	R2改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施	
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
	外出促進事業	5,234千円	外出促進事業	5,791千円	外出促進事業	5,791千円
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人		
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 高齢者外出促進事業に一環として実施している運転免許証自主返納時のマナカチャージ券5,000円分の交付について、令和4年度からの高齢者のN-バス有料化に合わせて、N-バス回数券6,600円分も選択できるようにした。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和2年度をもって、利用者の固定化や減少がみられる文化施設優待事業を廃止した。 また、敬老事業について、幅広い利用が可能となるように、ござらっせ入泉券から5枚綴りの金券へ変更した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 高齢者文化施設優待事業及び敬老事業について、上記のとおり令和2年度に事業見直しを実施することができた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) サービス利用者数や行事参加による実績値は把握できるが、利用による効果の測定ができていない。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 長生学園事業や敬老事業催事について、コロナ禍により過去2年間実施できていない。 高齢者の集うイベントのあり方について検討が必要である。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・高齢化の進行に伴う各種経費が増加している状況を鑑みて、各種敬老事業の目的を見直し、事業の統廃合などを検討してください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S22	施策名	ごみの減量化
担当部課	くらし文化部環境課	関係部課	教育総務課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 一般廃棄物処理基本計画
施策開始の背景、経緯等	近年、もえるごみが増加し、資源化率が低下傾向にあること、また尾張東部衛生組合晴丘センターが今後更新工事を控えており、ごみの減量化が必要となっている。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市民のごみ分別意識を向上し、ごみの減量化及び資源化率の向上を目指す。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) もえるごみ
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 1人1日あたりのもえるごみの量を減量したい。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	ごみの減量啓発									
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標		成果・目標				
		・地域意見交換会32回実施 ・市内小中学校ごみ減量出前講座27回実施 ・市広報で特集ページ掲載 ・地域への資源回収拠点運営管理委託打診	・市広報・回覧・SNS等複数媒体で市民へごみ減量啓発 ・もえるごみ組成調査実施 ・地域への資源回収拠点運営管理委託打診	・もえるごみ袋増額周知	ごみ排出量が令和2年度比で増加から減少に転化		令和2年度比ごみ減量化率15%以上達成				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)				
		特になし	未定	未定	未定		未定				
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人		市民参加数・見込み (延べ) 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	ごみの減量対策									
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標		成果・目標				
		・もえるごみ袋増額検討開始 ・もえるごみ組成調査実施	・もえるごみ袋増額議案提出 ・市管理の資源回収拠点候補地検討及び実施	・もえるごみ袋増額実施	ごみ排出量が令和2年度比で増加から減少に転化		令和2年度比ごみ減量化率15%以上達成				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)				
		特になし	未定	未定	未定		未定				
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人		市民参加数・見込み (延べ) 人				

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度は、もえるごみ袋増額の検討を開始し、8月号に広報折込チラシにて全戸配布して周知、さらに10～12月に市内各地域でもえるごみ袋増額に関する意見交換会を32回実施したほか、市内全小中学校で各3回計27回ごみ減量出前講座を実施した。令和2年度実施できなかった対面での意見交換ができ、改善することができた。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和3年度に上記のような市民に対するごみ減量啓発を数多く実施してもなおアナウンスが足りないとの指摘があった。今年度はさらなる市民への啓発のため、広報やホームページだけでなく、回覧やアプリ、環境課SNS等も最大限活用してできる限りの媒体を使用してアナウンスしていく。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) R3実施のもえるごみ組成調査で、もえるごみ袋の中にもえるごみ以外のものが全体の30.1%を占めており、市民のごみの分別意識の変革が必要。市民に対して広報や説明会等で啓発を促していくほか、ごみ減量施策を実施することでごみ減量や資源化意識を高める必要がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ごみ処理には多額の費用がかかっており、ごみを減量することでその費用を抑えられる。また、ごみ減量により処理施設にかかる負荷を抑え、施設の延命化につなげることができる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) もえるごみ袋増額を実施するとともに、その増収分でごみ減量施策や日ごろのごみ収集に関する課題を解決するための施策に財源を充て市民に還元することで、ごみの減量化を実現したい。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S23	施策名	補助金、助成金の見直し		
担当部課	総務部財政課		関係部課	補助金を所管する全課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営			
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市補助金等交付規則、各課等が所管する補助金交付要綱			
施策開始の背景、経緯等	平成17年に策定した第3次行政改革大綱の集中改革プランの一つとして位置づけ、その後は、予算編成時の査定を通じて適正化に取り組んできたが、受益者負担適正化の一環として適切な見直しを行う仕組みを整備し、一層の推進を図る必要がある。				
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 適正な支出となっているかを判断できるガイドラインを作成したため、ガイドラインに沿って既存の補助金については適正化を進め、毎年度チェックする仕組みを整えることで、適正な状態を維持できるようにする。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 補助金を支出する全ての担当課、各補助金の交付要綱等			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ガイドラインに沿った適切な要綱等に見直し、補助金の公益性、有効性、妥当性、公平性等を担保する。			
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	補助金、助成金の見直し			
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	団体・個人に適用可能なガイドラインを策定し、影響を受ける団体には担当課から説明を行う。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ガイドラインを作成し、ガイドラインに基づいて見直しが可能な補助金等の要綱から見直しを行った。			

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 全部の次長級職員による検討会議においてガイドラインを検討し、作成した。各補助金等の現状や課題を踏まえたガイドラインとなっているので、今後、ガイドラインの適切な運用を行っていく。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ガイドラインを作成し、可能なものから補助金要綱などの見直しを行った。今後、令和4年度中に、見直しの必要な全ての補助金、助成金の要綱等を見直しを行う。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接の事業費はないが、補助金の見直しが進むことで、市の支出する補助金等の費用対効果が最大化されると考える。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 決算時期に各課等にチェックシートの作成を依頼し、チェックシートを基にヒアリングを行うことで、ガイドラインの適切な運用を確保していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S24	施策名	請負類(リース類(コピー機など)、施設管理系、シルバー人材センター委託等)の一括契約
担当部課	総務部財政課	関係部課	施設管理課等、行政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等	現在、施設の管理運営に関する委託事務等を各担当課で行っている。類似の業務を施設ごとの担当が行っており、それらを一括契約することで各担当の事務負担を軽減することができる	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 施設の管理運営に関する委託事務等について、担当課ごとに行っている類似の業務を一括契約することで各担当の事務負担を軽減する
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 各施設で行っている請負類(リース類(コピー機など)、施設管理系、シルバー人材センター委託等)
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 施設ごとの契約をまとめる

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	各施設の委託事務等を一括契約とする				
	R3年度(2021) 成果・実績	R4年度(2022) 成果・目標	R5年度(2023) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標	
	まとめて契約できる委託業務について、各課の業務を調査した。	調査の結果をふまえ、課内の類似の業務をまとめていく	-	-	-	
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	
	特になし	特になし				
	市民参加数・実績(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
	R3年度(2021) 成果・実績	R4年度(2022) 成果・目標	R5年度(2023) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標	
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 施設の管理運営に関する委託事務等について、担当課ごとに行っている類似の業務について調査し、委託事務の全体を把握した。委託内容を精査し、類似の業務を一括契約にする場合の費用対効果を検証した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 検証した結果、複数の施設を管理している課において、類似した業務を個別に契約している案件が散見された。この中で、施設設備ごとに大きな違いのない点検業務や除草委託などについて、一括での契約を推進する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 複数の施設を管理する課内であれば、一括契約による事務負担軽減の効果も大きいと思われるが、改めて個別の状況を調査し、課題の抽出を行っていく
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 契約事務に係る事務負担を軽減することで、残業時間の削減や本来業務へ専念することができる
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今年度、課内の類似した業務について一括契約を推進するため、施設担当課に通知をだして、来年度の一括契約の準備をさせる。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票(S票: 施策評価票)

施策番号	S25	施策名	各行事(市民まつり、古戦場桜まつり、成人式、児童館まつり等)の見直し			
担当部課	子ども部子ども未来課	関係部課				
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち				
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市子ども・子育て支援事業計画				
施策開始の背景、経緯等	児童館まつりは、児童館に関心と愛着を持っていただくために、毎年実施していたが、事業規模が拡大傾向にあった。このため、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、事業見直しを行うもの。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 新型コロナウイルスにおける蔓延防止を行いながら、子ども本位のまつりになるよう、職員の負担を減らし、開催規模を適正にすることにより、新たな児童館まつりを開催する。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 児童館まつり				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域の子どもたちを健全に育成するため				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	児童館まつりの規模の見直し				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・事業規模を適正化した児童館まつりの開催 ・市民主体の児童館まつりの検討	・事業規模を適正化した児童館まつりの開催 ・市民主体の児童館まつりに向けた市民との調整	事業規模を適正化し、市民主体の児童館まつりの開催	事業規模を適正化し、市民主体の児童館まつりの開催	事業規模を適正化し、市民主体の児童館まつりの開催
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		消耗品費 187千円	消耗品費	消耗品費	消耗品費	消耗品費
		市民参加数・見込み(延べ) 56 人	市民参加数・見込み(延べ) 80 人	市民参加数・見込み(延べ) 80 人	市民参加数・見込み(延べ) 80 人	市民参加数・見込み(延べ) 80 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・令和3年10月から11月にかけて、各館毎に日程(各館2日間)を決めて実施した。 ・事前予約、時間割、人数制限、時間割毎の対象者を決めて実施し、703人の参加者があった。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・開催日時や開催場所を考慮した事業規模の見直し ・子ども主体及び市民協働による運営面の見直し ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事前予約と人数制限による開催
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 各児童館において、開催することができた。ただし、新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、児童館が自らまつりの企画から実施まで検討を行う場が設定できなかった。また、地域の団体が事業に関わっていくことも継続して協議していく必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 事業規模を適正化し、各自ができる範囲で準備することにより、委託費(会場設営費)が不要となる。また、市民・子ども主体の児童館まつりを開催することにより、準備期間や事業当日の職員人件費の削減が期待できる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後は、子ども主体・市民参加の児童館まつりの開催に向け、順次実施していきたい。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25	施策名	各行事（市民まつり、古戦場桜まつり、成人式、児童館まつり等）の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手古戦場桜まつり実行委員会補助金交付要綱
施策開始の背景、経緯等	平成25年度から市民による実行委員会の主催として開催しているが、事務局として職員が事務を行っていたり、開催日に職員の動員による時間外勤務が発生していることから、運営の見直しによる職員人件費の縮減や財源の確保を行う。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 長久手古戦場桜まつりにおける運営の見直し、収入の検討を行う。実行委員会による実施が実現しているが、事務局として職員が事務を行っており、開催日の職員の動員による時間外勤務も発生しているため、開催当日運営に携わる市民の人数をさらに引き上げていく。また、自主財源の確保に務める。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手古戦場桜まつり事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・事業費の縮減 ・財源の確保 ・職員人件費の縮減

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	開催当日運営に携わる市民の人数の引き上げ				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		開催当日運営に携わった市民の人数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため。	開催当日運営に携わる市民の人数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため。	開催当日運営に携わる市民の人数	開催当日運営に携わる市民の人数	開催当日運営に携わる市民の人数
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		負担金、補助金及び交付金	0千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円	負担金、補助金及び交付金 2,550千円
				損害保険料 51千円	損害保険料 51千円	損害保険料 51千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 50 人	(延べ) 55 人	(延べ) 60 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	自主財源の確保				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		実行委員会において検討	実行委員会において検討	出店料・協賛金の収集 目標額 35,000円	出店料・協賛金の収集 目標額 45,000円	出店料・協賛金の収集 目標額 60,000円
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 実行委員会の主体性をさらに高めるため、会議では、自分たちで何ができるか、また、課題と解決策を考えた。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 市からの補助金のみが財源となっているため、自主財源を確保する必要がある。また、職員人件費を削減するため、運営に携わる市民の人数を引き上げ、当日に出勤する職員数を減らす必要がある。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 自主財源の確保と市民参加人数の引き上げに向けて、令和4年度中に実行委員会の中で検討する必要がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 長久手古戦場桜まつりにおける運営の見直し、自主財源確保の検討を行うことにより、市の負担を軽減することができる。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 自主財源を確保しつつ、実行委員会が主体となって、より一層運営への市民参加を呼びかけ、多くの来場者が訪れる魅力あるまつりを実施していく。古戦場公園再整備事業が実施される期間については、まつりの開催の可否のほか会場の変更も協議する。再整備後は、実行委員会メンバーと協議し、事業のあり方について判断していく。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25	施策名	各行事（市民まつり、古戦場桜まつり、成人式、児童館まつり等）の見直し				
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課					
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち					
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進					
	法定受託事務の有無	無					
	その他（関係計画、要綱等）	有					
施策開始の背景、経緯等	成人式当日、受付や会場準備等に職員を配置しており、多くの人件費がかかっている。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 新成人を主体とした実行委員会が、式典などの準備から運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで実施する成人式のお手伝いをしてくれる新成人及びボランティア数を増やし、職員人件費縮減をする。					
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の二十歳の成人					
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 成人したことを自覚し、実行委員が主体的に企画・運営を行う。					
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	成人式実行委員会					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		新型コロナウイルス感染症が流行していることもあり、例年よりもお手伝いの人数は少なかった。	式典当日の運営に携わる新成人及びボランティアの人数。	式典当日の運営に携わる新成人及びボランティアの人数。	式典当日の運営に携わる新成人及びボランティアの人数。	式典当日の運営に携わる新成人及びボランティアの人数。	
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
		会場設営委託 460千円	会場設営委託 646千円	会場設営委託 646千円	会場設営委託 646千円	会場設営委託 646千円	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 9 人	(延べ) 22 人	(延べ) 24 人	(延べ) 26 人	(延べ) 28 人	
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②	成人式の開催方法				
			R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		成人式を中学校区(3部)に分けて開催した。	成人式を中学校区に分けて開催する。	成人式を中学校区に分けて開催する。	成人式を中学校区に分けて開催する。	成人式を中学校区に分けて開催する。	
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
		- -	- -	- -	- -	- -	
		- -	- -	- -	- -	- -	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	
活動状況		活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度の成人式は、中学校区の3部制で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止として、会場内が密になることを防ぐことができた。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 式典当日のお手伝いをしてくれる新成人及びボランティア数を増やし、職員人件費縮減をする。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 式典当日のお手伝いをしてくれる新成人及びボランティアの確保。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 式典当日のお手伝いをしてくれる新成人及びボランティア数を増やすことで、職員人件費の縮減になる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、20歳成人による手作りの成人式を実施する。 成人式を中学校区に分けて開催できるようにする。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25	施策名	各行事（市民まつり、古戦場桜まつり、成人式、児童館まつり等）の見直し			
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課				
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち				
	行政改革指針・重点課題	—				
	法定受託事務の有無	無				
	その他（関係計画、要綱等）	有	ながくて市民まつり実行委員会規約			
施策開始の背景、経緯等	平成24年度から、市が主体で行っていた市民まつりを、市民が主体となり実行委員会を組織して企画や運営を行うこととなった。					
施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 行政主導で実施してきた市民まつりを、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。				
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 市民まつり来場者				
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 地域文化、産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	市民まつり実施事業				
		R2年度 (2020) 成果・実績	R3年度 (2021) 成果・目標	R4年度 (2022) 成果・目標	中期 (おおよそ3年後) 成果・目標	長期 (おおよそ5年後) 成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
			0千円	-	-	-
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R2年度 (2020) 成果・実績	R3年度 (2021) 成果・目標	R4年度 (2022) 成果・目標	中期 (おおよそ3年後) 成果・目標	長期 (おおよそ5年後) 成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人
活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 実施委員会形式での市民まつりの開催を中止し、商工会にまつりの実施を依頼した。実施方法について、同じようにまつりを実施する可能性のある商工会、観光協会、あいち尾東農協長久手支店と情報共有を行うため、連絡会議を実施した。				

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 従来のように1つの会場に多くの人が集まる形のまつりの実施は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の可能性のあるため各団体の行う小規模なまつりをまとめてPRできないか検討した。
評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） ・実際のまつりはコロナの影響で実施できなかったため、実際に実施する際の手法については情報共有を行う必要がある。 ・また市の声かけで行っていた連絡会議も、市が実際にまつりを行わないことから、その実施主体について検討する必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 従来の市民まつりでは、出店者からは出店料は徴収していなかったため、多くの出店者が参加し、結果として賑わいを創出することができていた。
今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 市民まつりと同日開催していた健康展等のまつりや、その他まつりを実施している関係部署と連携し、一つの場所に人が密集しないような形の新しいまつりの実施方法について検討していく必要がある。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S26	施策名	下水道事業の見直し(抑制)				
担当部課	建設部下水道課		関係部課	財政課、環境課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち					
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進					
	法定受託事務の有無	無					
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市公共下水道事業計画					
施策開始の背景、経緯等	公共下水道の役割である「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」を継続させるため、下水道使用料を検討する必要性が生じた。 市の財政を考慮し、市街化調整区域の整備規模を調整する必要性が生じた。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 下水道使用料の見直し 市街化調整区域における下水道整備方針の見直し					
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 下水道使用料及び市街化調整区域における下水道整備方針					
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的な下水道の整備により、生活環境に寄与する。持続可能な下水道事業の経営					
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	市街化調整区域における下水道整備の見直しの検討					
		R2年度(2020) 成果・実績	R3年度(2021) 成果・目標		R4年度(2022) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
		長久手市下水道事業検討委員会設置要綱を策定	長久手市下水道事業検討委員会開催・整備区域の検討		長久手市下水道事業検討委員会開催・整備方針の決定	実施	実施
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		-	-	費用弁償 0千円	費用弁償 46千円		
		-	-	審議会報償金 88千円	審議会報償金 117千円		
		市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	下水道使用料の見直しの検討					
		R2年度(2020) 成果・実績	R3年度(2021) 成果・目標		R4年度(2022) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
		長久手市下水道事業検討委員会設置要綱を策定	長久手市下水道事業検討委員会開催・使用料の検討		長久手市下水道事業検討委員会開催・使用料改定の方針決定	実施	実施
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		-	-	費用弁償 0千円	費用弁償 46千円		
		-	-	審議会報償金 88千円	審議会報償金 117千円		
		市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長久手市下水道事業検討委員会設置要綱を策定した。 一般会計繰入金金の基準について財政課と協議を行った。					

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 長久手市下水道事業の安定的かつ持続可能な事業運営
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 下水道使用料の見直し 市街化調整区域における下水道整備方針の見直し
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 令和3年度から長久手市下水道事業検討委員会で下水道使用料の見直し及び市街化調整区域における下水道整備方針の見直しを検討する。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和3年度から長久手市下水道事業検討委員会で下水道使用料の見直し及び市街化調整区域における下水道整備方針の見直しを検討する。また合併浄化槽設置にかかる補助金について制度設計を行う。
内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S27	施策名	ICT(AI、RPA、リモート等)の活用	
担当部課	市長公室情報課	関係部課	全課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等	合理的・効率的な行政運営の推進	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ICT化と業務改革の一体的な取り組みの実施及び情報セキュリティの確保を行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員が行う業務全般
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ICTにより、職員が今より働きやすく便利な職場環境を整え、職員の働き方改革を行う。また、ICT化により問題になってくる情報セキュリティの確保も行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	AI総合案内サービス				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		AIによる回答の精度を向上させるため、質問例・回答例についてデータベースを充実させる。	AIによる回答の精度を向上させるため、質問例・回答例についてデータベースを充実させる。	AIによる回答の精度を向上させるため、質問例・回答例についてデータベースを充実させる。	AIによる回答の精度を向上させるため、質問例・回答例についてデータベースを充実させる。	AIによる回答の精度を向上させるため、質問例・回答例についてデータベースを充実させる。
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		AI総合サービス利用料 858千円				
		市民参加数・見込み(延べ) 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	AI-OCRシステムの活用				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		手書き申請書等をAI-OCRによりデータ化する事務プロセス等の検討を行う。	AI-OCRとRPAによる手書き申請書等のデータ化について事例研究及び導入業務の検討を行う。	導入業務の検討及び一部業務での試験運用を行う。	一部業務での運用を開始する。	一部業務での運用を開始する。
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		AI-OCR共同利用システム使用料 660千円	AI-OCR共同利用システム使用料 660千円	AI-OCR共同利用システム使用料 660千円	AI-OCR共同利用システム使用料 660千円	AI-OCR共同利用システム使用料 660千円
		市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人

目標・成果推移等②	活動状況	施策に係る取組③	議事録作成システム				
			R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
			成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
			議事録活用システムを使用する会議の対象を拡大する。	議事録活用システムを使用する会議の対象を拡大する。	議事録活用システムを使用する会議の対象を拡大する。	議事録活用システムを使用する会議の対象を拡大する。	議事録活用システムを使用する会議の対象を拡大する。
			費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
			議事録作成支援システム賃借料 1,598千円				
			システム使用課・見込み(延べ) 10 人	システム使用課・見込み(延べ) 15 人	システム使用課・見込み(延べ) 20 人	システム使用課・見込み(延べ) 20 人	システム使用課・見込み(延べ) 人

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) RPAの導入検討、テレワークの普及、AIチャットボット活用といった施策をDX推進計画の個別方針に位置づけ、評価指標の設定と令和7年度までのスケジュールを設定した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) E-Learningに関しては職員の約9割が受講した。今後の課題としては、さらに職員のセキュリティの意識向上に向け、怪しいメールが届いたり、パソコンが不審な挙動をした場合は、すぐさま適切な対応ができるよう意識を高めることに努める。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 職員に対する研修や勉強会は、今後のICT化に係る重要なことである。さらには、主催者である情報課職員もこういった研修や勉強会を開催することによって、問題点であったり現状を整理するよい機会であるため、費用対効果は高いと分析する。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後はAI-RPAの本格導入に向け、AI-RPAで処理することができる業務の洗い出しを各課で行い、令和5年度には実際に導入に向けた試行を実施する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S28	施策名	クラウドファンディングの推進				
担当部課	総務部財政課		関係部課	事業担当課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営					
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進					
	法定受託事務の有無	無					
	その他(関係計画、要綱等)	無					
施策開始の背景、経緯等	ふるさと納税の広がりを受け、クラウドファンディングの手法を取り入れた寄附金募集を行う自治体が増えてきた。本市でも特定財源の確保策としてクラウドファンディングを実施する。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市の特定の事業や市民団体等が実施する事業に対して寄附を集める。					
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市の特定の事業や市民団体等が実施する事業					
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 寄附などの財源確保を図るとともに、事業のPRを行う。					
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	クラウドファンディングの実施					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		3件の事業について寄附金を募集した。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		ふるさと寄附金(歳入)	14,266千円	ふるさと寄附金(歳入)	14,000千円	ふるさと寄附金(歳入)	14,000千円
		手数料・補助金(歳出)	12,354千円	手数料・補助金(歳出)	12,124千円	手数料・補助金(歳出)	12,124千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 465 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	
活動状況		活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 日本介助犬協会、郷土史研究会、合同会社つむぎてが実施する事業について寄附を募集し、465件、14,266千円の寄附があった。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 対象団体を市内の社会福祉法人から拡大して寄附金募集を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 広域的な社会福祉法人の事業に加え、市民団体(郷土史研究会)が実施する事業においても寄附があり、ふるさと納税を活用した団体支援方法の有効性が確認された。今後、こうした取組を広げ、市内の団体を支援する取組の一つとしていく。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 寄附金の増加による財源の獲得や、市民団体等の支援が期待できる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S29	施策名	統計データやアンケートのデータの活用推進			
担当部課	市長公室情報課		関係部課	企画政策課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	無				
施策開始の背景、経緯等	合理的・効率的な行政運営の推進					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市民アンケートを集約化し、これまで各課で保有していたデータを横断的に活用できるようにし、統計データとしての利活用を図る。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・職員				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 統計データを有効活用し、根拠に基づく政策・施策を企画し実施する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	アンケートの集約化・合理化				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		アンケート調査実施に関するガイドラインを策定した。	アンケート調査実施に関するガイドラインに基づきデータの集約を行う。	アンケート調査実施に関するガイドラインに基づきデータの集約を行う。	アンケート調査実施に関するガイドラインに基づきデータの集約を行う。	アンケート調査実施に関するガイドラインに基づきデータの集約を行う。
		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	
		市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	統計データの有効活用				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		アンケート調査実施に関するガイドラインを策定した。	アンケート調査実施に関するガイドラインに基づきデータの集約を行う。	集約したデータを庁内で共有しEBPMを促進する。	集約したデータを庁内で共有しEBPMを促進する。	集約したデータを庁内で共有しEBPMを促進する。
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) DX推進計画を策定し、主要取組事項として「データ活用」を位置づけ、個別の方策を進めていくこととした。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) アンケート調査実施に関するガイドラインを策定し、各課のアンケートデータを集約しEBPMを進める根拠資料とすることとした。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) アンケート調査実施に関するガイドラインを策定し、制度化し中長期的な展望ができた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 未着手
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) アンケートの集約化・合理化に向けた施策検討及び各課調整を行い、一元化したアンケート調査によりデータを横断的に活用できるようにし、統計データとしての利活用を図る。
内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S30	施策名	道路街路樹の維持管理の見直し		
担当部課	建設部土木課		関係部課	みどりの推進課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち			
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	無			
	施策開始の背景、経緯等	街路樹の維持管理費が年々増加している。			
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 街路樹の維持管理方法を見直す。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の街路樹			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事業費の削減			
目標・成果推移等①	施策に係る取組① 道路街路樹の維持管理の見直し				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	・管理頻度の見直し(試行、検証) ・アダプト制度等の活用(検討、試行)	・管理頻度の見直し(試行、検証) ・アダプト制度等の活用(実施)	・方針決定に基づき維持管理の実施 ・アダプト制度等の活用(実施)	・方針決定に基づき維持管理の実施 ・アダプト制度等の活用(実施)	・方針決定に基づき維持管理の実施 ・アダプト制度等の活用(実施)
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
	街路樹維持管理工事 106,753千円	街路樹維持管理工事 118,718千円	街路樹維持管理工事 未定	街路樹維持管理工事 未定	街路樹維持管理工事 未定
	市民参加数・実績(延べ) 172 人	市民参加数・見込み(延べ) 172 人	市民参加数・見込み(延べ) 172 人	市民参加数・見込み(延べ) 172 人	市民参加数・見込み(延べ) 172 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
	市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
	活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 事業費を削減するため、管理頻度の見直しを行った。		

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 除草(4回→3回) 灌水(4回→1回)
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 除草の回数を減らしたことにより、植栽周りの草に対する意見、要望が増えた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 管理頻度の見直しにより、事業費を約9百万円削減した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) R4年度を目処に街路樹維持管理の方針を決定する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・街路樹について、現在の配置のあり方などを見直し、維持管理経費の削減に努めてください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S31	施策名	交通弱者の移動支援(障がい者タクシー料金助成金(タクシーチケット)等)の見直し
担当部課	福祉部福祉課	関係部課	長寿課、企画政策課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 地域公共交通網形成計画、ながふく障がい者プラン、長久手市障がい者タクシー料金助成事業実施要綱
施策開始の背景、経緯等	既存の公共交通に乗りえない交通弱者の移動手段として、Nタクの実証実験が行われたが、事業化には至らなかった。引き続き、移動手段の確保策を検討する必要がある。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 公共交通及び移動に関する既存の施策(障がい者タクシー助成事業)の実施状況等を踏まえ、既存事業の見直し及び交通弱者の移動手段の確保に向けた検討を行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者、障がい者等の移動困難者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 費用負担の適正化を図りつつ、交通弱者の外出に対する不安や困難さを軽減し、必要な移動ができるようにする。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	障がい者タクシー料金助成の見直し				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		令和2年度の利用状況等の分析を行う。 ・事業対象者に対しアンケート調査を実施した。	・令和3年度の利用状況等の分析を行う。 ・利用状況及びアンケート結果を踏まえた見直し方針を決定する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。	・方針に基づき施策を実施する。 ・利用状況を継続的に把握する。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		タクシー料金助成 3,097,890円	タクシー料金助成 3,500,000円	タクシー料金助成 3,675,000円	タクシー料金助成 3,858,000円	タクシー料金助成 4,051,000円
		印刷製本費 104,500円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円	印刷製本費 110,000円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 559 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	高齢者等移動支援事業				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		要介護者を対象とした目的地での行動支援をセットにした移動支援のニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。調査の結果、事業を実施しないこととした。				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 780 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) タクシーチケットの利用状況を、年齢や障がい別で集計する等した結果、見直しのポイントを整理することができた。また、アンケート調査を実施し、チケット交付者及び未交付者の移動等に関する実態を把握し、障がい者自立支援協議会及び福祉有償連送運営協議会で結果を共有した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 必要な人が必要なときに使いやすい制度となるよう改善を行う。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 制度の改善項目として、助成金額、利用方法などの運用、対象者などがあり、どこに的を当てて改善していくかが今後の検討課題である。 ・アンケート調査の結果、介護付きタクシー助成事業を実施しても外出の大幅な促進にはつながらず、かつ既存の制度と棲み分けできない可能性が考えられるため、事業は実施しない。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) タクシー助成事業について、障がいのある人の増加に伴う経費の増加は一定見込んでいるが、必要な人が必要なときに使うことができるように見直しを行い、予算規模を大幅に拡大することは想定していない。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・交通弱者の移動支援策について、施策対象者が重複することがないよう、各施策のターゲット等を明確にするほか、公共交通ネットワーク調査研究会において、公共交通との役割分担等について検討を行う。 ・アンケートの詳細分析を進め、夏頃までに方針決定し、必要に応じて令和5年度予算へ反映させる。 ・高齢者の移動支援事業として、既存の事業である福祉有償連送の拡充や市民主体の取組が提案されるよう働きかける。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	市独自の施策について、事業の必要性の再確認や、負担割合の見直し等について研究検討してください。
------	--------------------	---

内部意見への回答		
----------	--	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S32	施策名	生涯学習講座、健康づくり事業の統廃合を含む整理(集約化)
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	長寿課、文化の家、健康推進課、保険医療課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	5 横断的な事務の推進(連携改善)
	法定受託事務の有無	有 健康増進法、社会教育法
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ推進計画、長久手市健康づくり計画、第2次長久手市生涯学習基本構想、長久手市文化芸術マスタープラン
施策開始の背景、経緯等	対象者が違うものの民間や複数の課で実施されている講座及び教室について、事業目的や内容が同一のものが実施されている。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 同じ目的、内容の事業は集約化を検討し、民間で実施している類似事業については廃止、移管をあわせて検討する。地域で担ってもらえる事業を検討し、地域に移管する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、生涯学習講座等
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事業費の削減、事務負担の軽減、市民の活躍の場の創出

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		健康づくり教室事業【健康推進課】							
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	事業の集約化に向けた調整を行う。		調整した事業から、随時集約化や民間への移管を実施する。		調整した事業から、随時集約化や民間への移管を実施する。		調整した事業から、随時集約化や民間への移管を実施する。		調整した事業から、随時集約化や民間への移管を実施する。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	健康教育講師等報償費	148千円	健康教育講師等報償費	180千円	未定		未定		未定	
	健康づくり教室事業委託	67千円	健康づくり教室事業委託	198千円						
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	160 人	(延べ)	220 人	(延べ)	230 人	(延べ)	240 人	(延べ)	250 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ゲートキーパー養成講座、災害時看護師ボランティア講習会等、他課と重複しない講座を実施した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 健康測定会等、他課と連携できる事業について、一体的に実施することを検討する。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して実施することとなった。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 専門の方に講師を務めてもらう必要がある講座について、報償費を支払い実施した。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 協定締結先の民間企業等と連携し、費用をかけずに内容を充実させる。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
------	--------------------	--

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S32	施策名	生涯学習講座、健康づくり事業の統廃合を含む整理(集約化)
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

第6次総合計画・基本目標	1「やってみたい」でつながるまち
行政改革指針・重点課題	—
法定受託事務の有無	無
その他(関係計画、要綱等)	有 社会教育法、第2次長久手市生涯学習基本構想、長久手市文化芸術マスタープラン
施策開始の背景、経緯等	庁内や民間で実施されている講座及び教室について、事業目的や内容が同一のものが実施されている。

施策の内容	(どのような施策なのか) ・事業目的及び内容が同一のものを集約化する。 ・民間で実施している類似講座及び教室について、廃止を検討する。
施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 生涯学習講座
施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 講座開講に要する事業費や事務負担を削減する。

施策に係る取組①		公民館講座					
R3年度 (2021)		R4年度 (2022)		R5年度 (2023)		中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
生涯学習講座開講数 12講座 <small>※事業目的及び内容が重複する講座については見直しを行った。また、R3年度は公民館が新型コロナウイルス集団ワクチン接種会場となり長期休館したため、講座数を大幅に減少させることとなった。 ※下記市民参加数・実績は、成立した育成サークルの参加者数を記載している。</small>		生涯学習講座開講数 10講座 <small>※R4年度は公民館が新型コロナウイルス集団ワクチン接種会場となり長期休館する予定であるため、講座数は減少させたままとする予定である。</small>		生涯学習講座開講数 20講座		生涯学習講座開講数 20講座	生涯学習講座開講数 20講座
費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
報償費	321千円	報償費	751千円	報償費	751千円	報償費	751千円
市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
(延べ)	42 人	(延べ)	20 人	(延べ)	40 人	(延べ)	40 人

施策に係る取組②		アーツスクール事業					
R3年度 (2021)		R4年度 (2022)		R5年度 (2023)		中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
現行講座2年目 新規受講生37人		現行講座3年目 新規受講生42人(予定)		新規講座 新規受講生240人(予定)		新規講座 新規受講生240人(予定)	新規講座 新規受講生240人(予定)
費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
報償費	2,755千円	報償費	3,383千円	報償費	3,383千円	報償費	3,383千円
委託費	500千円	委託費	500千円	委託費	500千円	委託費	500千円
市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
(延べ)	62 人	(延べ)	70 人	(延べ)	150 人	(延べ)	150 人

活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・民間事業者が類似講座を実施しているパソコン講座・浴衣着付け講座や、周辺大学が類似講座を実施している大学連携講座などを廃止した。 ・職員以外が主体的に関わって実施する講座については継続して実施した。
---------	--

改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・民間事業者が類似講座を実施しているパソコン講座・浴衣着付け講座や、周辺大学が類似講座を実施している大学連携講座などを廃止した。 ・職員以外が主体的に関わって実施する講座については継続して実施した。
--------	---

評価・課題	(進捗状況や課題など) 講座の一元管理については、部署によって講座を行う趣旨や根拠となる法律が異なるため、どのように整合性をとっていくかは課題である。
-------	--

施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 見直しを行ったことにより、事業費を削減することができた。
------------------	---

今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 講師(市民)が主体となり実施する講座の満足度の向上を図っていく。
------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当
------	--------------------

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S33	施策名	福祉関係（障害者手当、福祉医療費、各種検診、予防接種等）の費用負担の見直し
担当部課	福祉部健康推進課	関係部課	福祉課、保険医療課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	有 健康増進法、予防接種法
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市地域福祉計画、長久手市障害者手当支給条例、障がい者基本計画、データヘルス計画、国民健康保険法、長久手市健康づくり計画
施策開始の背景、経緯等	高齢者人口の増加、福祉サービスの多様化による支出の拡大等、現在の福祉をとりまく環境等を踏まえ、社会情勢の変化に伴う事業の在り方について見直し、費用負担の適正化を検討する。	

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 社会情勢の変化に伴い、障害者手当支給事業の在り方や各種検診における自己負担額の適正化を図る。また、医療費の増大を抑えるため、ハイリスク者を対象とした重症化予防事業を行う。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 市民
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 経常経費の縮減、重症化に伴う医療費の削減及び費用負担の適正化を図る。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	各種検診自己負担額の見直し【健康推進課】									
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (おおよそ3年後)	中期 (おおよそ5年後)	長期 (おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		自己負担金の見直しを行う。	自己負担金の見直しを行う。	自己負担金の見直しを行う。	自己負担金の見直しを行う。	自己負担金の見直しを行う。					
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)					
		がん検診等委託料	125,006千円	がん検診等委託料	125,937千円	未定	未定	未定			
		39歳以下健診委託	1,778千円	39歳以下健診委託	2,970千円						
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み					
	(延べ) 24,949 人	(延べ) 25,447 人	(延べ) 25,447 人	(延べ) 25,447 人	(延べ) 25,447 人	(延べ) 25,447 人					

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	高齢者予防接種自己負担額の検討【健康推進課】									
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		近隣市町の状況を調査し、検討したが、接種率と感染防止効果をふまえ、費用負担は現状どおりとすることとした。	近隣市町の状況を調査し、感染症のまん延防止と費用負担について、検討する。	近隣市町の状況を調査し、感染症のまん延防止と費用負担について、検討する。	近隣市町の状況を調査し、感染症のまん延防止と費用負担について、検討する。	近隣市町の状況を調査し、感染症のまん延防止と費用負担について、検討する。					
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)					
		予防接種委託	204,710千円	予防接種委託	274,029千円	予防接種委託	275,000千円	予防接種委託	275,000千円	予防接種委託	275,000千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み				
	(延べ) 7240 人	(延べ) 7855 人	(延べ) 7855 人	(延べ) 7855 人	(延べ) 7855 人	(延べ) 7855 人					

活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 令和3年度は、集団検診・個別検診とも緊急事態宣言中も、感染症対策に努め、検診を継続して実施したが、感染症を気にして受診を控える傾向も見られた。 高齢者インフルエンザ6,738人、高齢者肺炎球菌502人 令和3年度は、インフルエンザの流行はみられず、インフルエンザ警報は発令されなかった。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 受益者負担適正化と感染症まん延防止の観点から、費用負担の適正化を検討していく。
評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） 急激な自己負担金の増額は、受診率、接種率の低下につながることも考えられるため、段階的に適正な額となるようにする。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 自己負担金を増額することで、歳入増加につながる。
今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 高齢者の人口増加に伴い、現在無料である70歳以上の検診料について、有料化することを令和5年度までに検討する。 近隣市町の状況を調査し、感染症のまん延防止と費用負担について、検討する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	自己負担の見直しなどにより、市負担分の軽減に努めてください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S33	施策名	福祉関係（障害者手当、福祉医療費、各種検診、予防接種等）の費用負担の見直し
担当部課	福祉部保険医療課	関係部課	福祉課、保険医療課、健康推進課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	—
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 データヘルス計画、国民健康保険法、地域福祉計画
施策開始の背景、経緯等	高額な治療による医療費の増大を抑えるため、ハイリスク者を対象とした重症化予防事業を行う。	

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 健康リスクが高い人に対し、対象者の状況に合わせた通知を発送する。中でもハイリスク者に対しては専門医等による保健指導を行う。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 長久手市国民健康保険被保険者の内、レセプトデータ及び特定健診の結果から基準値を超えた者
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 健康状態をコントロールし、重症化することを防ぐ。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	重症化予防事業				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		健診結果や過去の病院受診状況から、病院受診が必要な人に受診勧奨通知を送付する。 R2に決定した対象者にかかりつけ医と連携して、専門医、栄養士、薬剤師による保健指導を行う。	受診勧奨を行い、重症化する前に治療できるようにする。 専門医等と協力した保健指導により、人工透析や手術に移行しないようにする。	受診勧奨を行い、重症化する前に治療できるようにする。 専門医等と協力した保健指導により、人工透析や手術に移行しないようにする。	受診勧奨を行い、重症化する前に治療できるようにする。 専門医等と協力した保健指導により、人工透析や手術に移行しないようにする。	受診勧奨を行い、重症化する前に治療できるようにする。 専門医等と協力した保健指導により、人工透析や手術に移行しないようにする。
		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		保健事業業務委託 3,924千円	保健事業業務委託 4,975千円	保健事業業務委託 4,975千円	保健事業業務委託 4,975千円	保健事業業務委託 4,975千円
		保険者独自提供データ作成委託 773千円	重症化予防事業委託 2,497千円	重症化予防事業委託 2,497千円	重症化予防事業委託 2,497千円	重症化予防事業委託 2,497千円
		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 受診勧奨293人 保健指導 9人	(延べ) 受診勧奨400人 保健指導 23人	(延べ) 受診勧奨390人 保健指導 25人	(延べ) 受診勧奨380人 保健指導 25人	(延べ) 受診勧奨370人 保健指導 25人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	福祉医療費助成制度				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		高校生世代を対象とする入院費助成制度の周知のため、新高1世代にあたる647名に制度案内を送付した。	事業を継続	事業を継続	事業を継続	事業を継続
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		子ども医療費 430,173千円	子ども医療費 435,151千円	子ども医療費 439,502千円	子ども医療費 443,897千円	子ども医療費 448,335千円
		障害者医療費 87,597千円	障害者医療費 101,773千円	障害者医療費 104,826千円	障害者医療費 107,970千円	障害者医療費 111,209千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 超重症化予防事業は保健指導をするうえで、スマートフォンアプリのみを使用する予定であった。しかし、高齢な参加者が多く、アプリをうまく使いこなせなかったり、そもそもスマートフォンを持っていない人もいたため、急速、紙による保健指導の方法を追加した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 超重症化予防事業は、委託業者、専門医・薬剤師・栄養士等、幅広い職種の人に関わることもあり、事前の調整に時間がかかってしまったことがあった。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 超重症化予防事業について、参加者の定員を20名としていたが、実際に参加の同意が得られた者は9名であった。対象者に、より興味を持ってもらえる案内の方法を検討する必要がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 人工透析は一人当たり年間500万円程の医療費がかかるため、ハイリスク者には個別で積極的に介入をしていく必要がある。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) スマートフォンアプリを使用しないで超重症化予防事業に参加する者は、紙による食事等の記録を行うが、面倒という意見がある。記入してもらうものの取捨選択が必要である。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
------	--------------------	--

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S33	施策名	福祉関係（障害者手当、福祉医療費、各種検診、予防接種等）の費用負担の見直し
担当部課	福祉部福祉課	関係部課	福祉課、保険医療課、健康推進課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市障害者手当支給条例、ながふく障がい者プラン
施策開始の背景、経緯等	人口増加及び高齢化に伴い、扶助費が増加していることを踏まえ、支給対象の見直しを行い、事業の継続性を確保する。	

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 障害者手当について、見直しを行う。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 市民
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 事業の継続性を確保する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	障害者手当の見直し				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・障害者手当支給条例及び条例施行規則の改正を行った。 ・支給対象の変更に伴い、周知広報を行った。	条例及び規則に基づき事業を行う。	条例及び規則に基づき事業を行う。	条例及び規則に基づき事業を行う。	条例及び規則に基づき事業を行う。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		障害者手当 63,148,000円	障害者手当	障害者手当	障害者手当	障害者手当
		市民参加数・実績 (延べ) ー 人	市民参加数・見込み (延べ) ー 人	市民参加数・見込み (延べ) ー 人	市民参加数・見込み (延べ) ー 人	市民参加数・見込み (延べ) ー 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人

活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 長久手市障害者手当について、市議会では、削減見込額、県内他自治体の状況、代替施策の有無等の質問があった。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 令和4年4月1日以降、身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害保健福祉手帳の交付を最初に受けた65歳以上の者は、手当支給要件対象外とした。また、刑事施設、労役場その他これに準ずる施設に拘禁される時はその期間、手当を支給停止する旨を追加した。
------	--------	---

評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） 今回の改正により、将来的な増加分が緩やかになる。しかしながら、今後も長期にわたり増加し続けるため、財政状況をみながら定期的な支給のあり方について見直していく必要がある。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 改正前と比較し、年平均200万円程度の削減見込み。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 支給対象の変更に伴う効果額等を把握しつつ、今後も財政状況をみながら定期的に見直していく。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
------	--------------------	--

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S34	施策名	学校プールの見直し									
担当部課	教育部教育総務課		関係部課									
基本情報	第6次総合計画・基本目標	—										
	行政改革指針・重点課題	—										
	法定受託事務の有無	無										
	その他(関係計画、要綱等)	無										
施策開始の背景、経緯等	小中学校のプール施設には、年間の維持管理と老朽化による改修の経費が必要であるため、施設のあり方を学校外施設を含めて検討を行う。併せて、教員の負担軽減を図る。											
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 学校の水泳授業に、学校外施設の使用及び指導員の委託をすることを試行し、維持管理費及び学習指導上の効果、課題等を研究する。										
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 学校のプール施設並びに児童生徒及び教職員										
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 学校外のプール施設利用及び指導の委託による効果と課題を抽出し、学校プール施設のありかたを研究する。										
目標・成果推移等①	施策に係る取組① 学校外プール施設利用及び外部指導員による研究											
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)			
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標			
	民間施設の利用をモデル校1校で試行を計画したが新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。		小学校1校で試行を行い、維持管理費、効果、課題等を研究する。		2022年度に実施したモデル校の結果を踏まえ、決定した方針に沿って取り組む。		2022年度に実施したモデル校の結果を踏まえ、決定した方針に沿って取り組む。		2022年度に実施したモデル校の結果を踏まえ、決定した方針に沿って取り組む。			
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)			
	プール指導委託	330千円	プール指導委託	4,224千円	不明		不明		不明			
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み			
	(延べ)	— 人	(延べ)	521 人	(延べ)	529 人	(延べ)	556 人	(延べ)	584 人		
	施策に係る取組②											
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)			
成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標				
費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)				
市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み				
(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人			
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 9校の学校プール施設のうち7校は、建設から30年以上が経過し、大規模改修の時期を迎えている。										

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 学校プールの維持管理費と、学校外施設利用及び指導員委託による学習指導上の効果、課題を研究する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和4年度に民間施設利用、指導員委託を試行する。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) モデル校を1校設定し、民間業者と委託契約を締結した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和4年度中に、学校プールの維持管理費と、学校外施設利用及び指導員委託による、学習指導上の課題の研究結果をまとめる。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・学習指導上の効果と共に、実施に係るコストを含めて検証し、今後の方向性を示してください。
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S35	施策名	総合計画の推進
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	—
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市みんなで作るまち条例、長久手市総合計画審議会条例
施策開始の背景、経緯等	総合計画については、地方自治法による法的な策定根拠はなくなったが、まちづくりの課題は多様化しており、従来以上に総合かつ計画的に市政運営を図ることの重要性が高まっていることから、継続して総合計画を策定していくこととし、2018年7月に施行した「長久手市みんなで作るまち条例」に策定根拠と議決要件が明記された。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ・総合的かつ計画的な行政運営を図るため、総合計画を策定し推進する。 ・多くの市民に関わっていただきながら、計画を策定し推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) ・市職員 ・市民
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 総合計画に基づき長期的視点に立って、事業を実施するとともに、市民と行政が協働する市民主体のまちづくりを目指す。 ・(市民)まちづくりの担い手として、意識を持ち、主体的にまちづくり活動に携わっていただく。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	第6次総合計画の策定・推進				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		アクションプラン(159事業)の進捗管理	アクションプランの進捗管理	アクションプランの見直し	アクションプランの進捗管理	アクションプランの進捗管理
		費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 10 人	(延べ) 10 人	(延べ) 15 人	(延べ) 20 人	(延べ) 30 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	市民まちづくり計画の策定				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の見直し	市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の推進
		費用・見込み(細々節名) (金額)				
		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 10 人	(延べ) 10 人	(延べ) 15 人	(延べ) 20 人	(延べ) 30 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 総合計画の基本構想実現のために、市民の取組をまとめた市民まちづくり計画では、チームごとに市民アクションを実施しており、例年であれば各市民アクションチーム等を集めた交流会を開催しているが、コロナ禍における感染拡大防止のため、開催を見送る等、様々な市民活動が制限され、計画に沿った市民活動の推進が難しい状況であった。 しかし、一部の市民アクションチームでは、市内大学と連携し、市制10周年記念事業の一つとしてスカイランタンの動画を作成・配信を行った。コロナ禍で活動が制限されるなか、イベントではなく動画配信を行うなど、工夫しながらコロナ禍でもできる活動を行うチームが見られる。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 従来の総合計画では、計画を推進していくのは行政としていたが、第6次総合計画では、「市民と行政が協働する市民主体のまち」実現のため、市民が基本構想実現のために取り組む内容をまとめた市民まちづくり計画を策定したものの、コロナ禍における活動自粛が求められ、終息の見通しが見えない中、市民参加者の見込みの人数についても暫定的な数値とし、感染症対策を行いながらの取組が求められる。アクションプランについて、行政評価と連動し毎年活動数値を把握することで、進捗管理を行う。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 市民アクションについては、コロナ禍により市民活動が制限され、市民活動を促進することは難しい状況であった。ただ、そのなかでも一部の市民アクションチームは活動がされていた。 市民が主体となったまちづくりの推進については、行政から積極的に働きかけを行うのではなく、市民自ら主体となって参加してもらうことを目的とし、市民とどのように関わっていくのか、繰り返し検証する必要がある。そのなかでも、コロナ禍で活動できていなかった市民アクションチームに再始動を促すことが課題である。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 総合計画により基本方針を定め、その目標に向かって市民の力も活用しながら進めているものの、コロナ禍による活動自粛の影響が懸念される。 総合計画は市全体の目標を定めるものであり、具体的な効果について示すことは難しいが、後期アクションプラン策定時に、5年に一度実施する市民意識調査で得られた成果指標の数値を基にして、基本構想・基本計画の実現に効果的な事業を選択し、市全体の効率化を図る。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 市民まちづくり計画を認知し、積極的に関わる市民は、まだ一部の市民に限られている。市民まちづくり計画について多くの市民に知ってもらい関わってもらえるよう、働きかけを行う必要がある。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
	内部意見への回答	

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S36	施策名	自治体間連携の推進（広域行政制度の活用、広域の利点を生かした連携の推進）
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	3 自治体間連携の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 尾三地区自治体間連携協定
施策開始の背景、経緯等	市の持つ経営資源（人、物、金、情報）は限られており、すべてのニーズに応えるフルセットの行政サービスの提供は難しく、自治体間競争ではなく、連携による行政サービスの提供が必要	

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 各市町の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携することにより、地域社会の持続的な発展、地域の課題への対応及び地域交流の活性化が図られる。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 各自治体の業務全般
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 各自治体が処理する事務手続きの共同化による事務負担の軽減、業務の標準化、サービスの質の確保

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	業務の共同実施、効率化				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		広域連携、共同実施事業の増加	広域連携、共同実施事業の増加	広域連携、共同実施事業の増加	広域連携、共同実施事業の増加	広域連携、共同実施事業の増加
		費用・見込み (細々節名) (金額)				
		尾三地区自治体間連携推進会議負担金 10千円				
		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 平成28年1月に、日進市、みよし市、東郷町、豊明市、長久手市で尾三地区自治体間連携協定を締結した。 今までに、航空写真撮影、職員派遣交流事業、介護保険事業所の指定、指導監督事務などを共同実施している。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 広域連携、共同実施事業の検討テーマのうち、愛知尾三地区滞納整理機構の設立について、本市を除く4市町が、協定を締結した。長久手市は既に滞納整理機構について独自に事業を進めているため、参加していない。令和3年度は新たに、4つの検討テーマを加えて事業を実施した。
評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） 平成27年度以降、各市町の共同実施について協議を重ねており、各市町の事務処理方法、更新時期、費用も様々なため、共同実施できる事業が減少している。しかし、各市町の財政負担が増加しつつあるなか、各施設の共同利用等、共同実施できる事業の検討が必要である。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 本市が連携する事業については、費用対効果が目に見える実績はあまりない。他市町が連携する事業の電力の共同購入では費用対効果が出ている。
今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 2年ごとに、連携事業の掘り起こしを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S37	施策名	横断的な事務の推進(組織の連携改善、各種窓口での連携強化)			
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	5 横断的な事務の推進(連携改善)				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市部設置条例、同条例施行規則			
施策開始の背景、経緯等	横断的な事務の推進のため、適宜、組織編成や事務分掌の見直しを行っている。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 効率的な市政運営のため、組織の連携改善や事務分掌の見直しを行うことにより、組織の再編等を含め、市役所業務全般の最適化をめざす。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市役所業務全般				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 組織の連携改善や事務分掌の見直しにより、事務の効率化や費用の軽減等を図る。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	組織の再編				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直し、連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直し、連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直し、連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直し、連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直し、連携強化を図る。
		費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		市民参加数・実績(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人	市民参加数・見込み(延べ) 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度に市長直轄組織の地域共生推進課を設置、令和4年度に生涯学習課と文化の家を統合するなど、組織の見直しを適宜行っている。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 重複している業務の統合や、重点的施策を実施するための組織の見直しを行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 部、課毎の業務内容、事務量を確認し、社会課題に対応した組織とすること。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接的な数値で費用対効果を測ることは難しいが、重複する事務の解消や所属ごとの事務量に見合った人員配置により業務の効率化を行うことで、組織全体の経費削減につながると考える。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 効率的な行政運営や今後増加する施設の運営体制も見据え、組織の見直しを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S38	施策名	職員の現場志向の向上
担当部課	市長公室人事課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 行政改革指針改訂版
施策開始の背景、経緯等	これからの超高齢・人口減少社会に対応するには、市民にもまちづくりの一員として役割を担ってもらわなければならないため、職員が地域に出かけ、地域を深く知ったり、市民同士をつなげる役割を担ったりすることにより、市民主体の取り組みを支えていく必要がある。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 職員が地域に出て、多様な市民と対話を積極的にを行い、地域の課題を把握することにより、市民自らが地域の課題を解決することを支援し、市民同士をつなげる能力を向上させるための人材育成に取り組む。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員に「まち全体が職場だ」という意識が根付いている。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	まちに出る研修の実施				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		コロナ禍のため、まちに出る研修は見合わせ	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		-	-	-	-	-
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) - 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	スキルアップのための研修の実施				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		市長講話17人 ファンリテーション研修1人 プレゼンテーション研修1人	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		研修会等講師謝礼 0千円	研修会等講師謝礼 0千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) - 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) コロナ禍のため、オンラインによる研修が多く、まちに出る研修は見合わせとなった。人事研修のほか、地域共生社会の実現に向け、重層的支援体制の整備のため、地域共生推進課に地域共生担当職員を配置し、地域を拠点に業務に取り組んだ。また、たつせがある課には小学校ごとに兼任の地域担当職員6人を配置した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 地域共生推進課に専任の地域担当職員を配置し専任職員を増員した。引き続き、兼任の地域担当職員も配置した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 人事研修だけで十分とはならない。日頃から業務の中におけるOJTも必要。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 育成の状況は、数値として表しにくい。研修アンケートでの満足度等は高めてある。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 本務以外に目を向ける余裕ができるよう引き続き、業務の見直し始め、働き方改革に取り組む。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S39	施策名	行政改革の推進
担当部課	総務部行政課	関係部課	企画政策課、財政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 中期財政計画、行政評価実施要領
施策開始の背景、経緯等	効率的な行政運営を図りつつ、その減量化に努め、住民福祉の増進に資するため、昭和60年に第1次長久手町行政改革大綱を策定し、その後、第2次行政改革大綱を平成9年に策定し、第3次行政改革大綱を平成17年に策定し、行政改革指針を平成29年に策定し、平成31年に同指針を改訂した。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的にかつ確実に運営するとともに、中期財政計画にある総支出の抑制及び財源の確保の重要性を踏まえ、中期財政計画と両輪で行政改革を推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市内部(庁内)、各種事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的にかつ確実に運営する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	重要課題事業の決定・実施				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。 ・指針の中間見直しを実施し、新たな重要課題事業の洗い出しを行う。	・新たな重要課題事業を決定し、取組を始める。
		費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	行政評価の実施				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を対象に実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。
		費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		行政改革推進に関する助言指導委託 306千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	
		行政改革推進委員会委員報酬 306千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 12人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・行政評価票の作成を担当する職員を対象に成果指標の設定に対する支援、助言のためのワークショップ形式による研修を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の対応として、行政改革推進員会や外部評価を书面開催、オンライン形式により実施した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・外部評価などで意見が多かった成果指標設定の課題について、「魚の骨図」を活用したワークショップ形式の職員研修を実施実施することにより、指標設定の改善やそれに係る意図との関連性の明確化などを中心に改善の取組を行っている。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ・実際の取組の推進に向けた進捗の管理、支援が必要となる。 ・行政評価票を作成する際のフォローを行い、更なる適正な行政評価の実施に取り組む。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ・重要課題事業の具体的な取組により中期財政計画で示された総支出の抑制及び財源の確保を図ることが重要であり、そのために職員が常に費用対効果(コスト)を意識して事業の実施や行政評価票の作成に取り組めるとよい。 ・各事業の評価票(A票)の「事業」対象あたりのコストを分析し、予算への反映や事務改善につなげた。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・具体的な取組(第1弾～第3弾)の進捗管理を行い、各担当課が取組を実施する際の課題の整理、実現に向けた支援を行っていきたい。 ・行政評価(外部評価を含む。)は継続した取組となるように、様々な活用を図る。 ・行政改革の推進及び行政評価の適正化にあたっては、職員の意識改革が重要なため、管理職向けの研修を行い引き続き意識向上を図る。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S40	施策名	受益者負担の適正化
担当部課	総務部財政課	関係部課	施設管理課等

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市使用料及び手数料条例
施策開始の背景、経緯等	これまで、使用料および手数料は消費税率引き上げに伴う見直ししかしておらず、社会情勢の変化に対応した見直しができていなかったため、統一的な基準を作成し、料金の見直しを行う。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 経費算定の統一的な基準を作成し、施設使用料や行政サービス手数料の見直しを行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 施設や行政サービスの利用者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 運営経費に見合った使用料や手数料の算定を行い、受益者負担の適正化を図る。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	使用料・手数料の見直し				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	統一的な使用料・手数料の算出基準を作成し、使用料・手数料条例等の改正を行った	見直し後の使用料・手数料を施行する。	見直し後の使用料・手数料を施行する。	次回の使用料・手数料の見直しに向け、現状を整理する。	使用料・手数料条例の改正議案を提出する。(5年に一度の見直しを標準化)	
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	費用・実績(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 「使用料及び手数料の見直しに関する方針」を作成し、統一的な基準で見直しを行った。使用料及び手数料条例等を改正し、令和4年4月1日から新しい料金体系を施行する。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 税金との費用負担割合を明確化するため、使用料・手数料の算出根拠を明確にし、これまでなかった使用料・手数料の算出基準を作成した。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 受益者負担の適正化は、使用料・手数料の歳入だけの見直しのみではなく、歳出の見直しも必要となる。施設の維持管理経費の縮減や、施設の運用方法の見直しなど、FM(ファシリティマネジメント)の推進も併せて取り組む。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 使用料・手数料の見直しにより、歳入の増加が見込める。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後、5年に一度の周期で使用料及び手数料の見直しを行う。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
------	--------------------	--

内部意見への回答	
----------	--

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S41	施策名	公共施設等総合管理計画(公共FM)の運用
担当部課	総務部財政課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市公共施設等総合管理計画
施策開始の背景、経緯等	我が国では、高度経済成長期に建設された多くの公共施設等が老朽化し、一斉に更新時期を迎えている。今後、公共施設等の維持補修・更新のための財源を確保することは困難な可能性がある。このような中、国は平成28年度末までに、全ての地方公共団体に対して公共施設の点検等を実施した上で適切な措置を講じるための総合管理計画の策定要請を行った。これを受け本市では平成29年3月に「長久手市公共施設等総合管理計画」を策定した。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指し、機能の複合化等の検討などによりトータルコストを縮減、財政負担を平準化するため、庁内の検討体制を確立し、問題解決にあたる。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 公共施設
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公共施設の適正配置や機能複合化、計画的な修繕により、コストの削減・平準化をはかる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	長久手市公共施設等総合管理計画の改訂				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		R2年度策定した個別施設計画を踏まえ、長久手市公共施設等総合管理計画を改訂した	-	-	-	-
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		公共施設等総合管理計画更新版策定委託 2,970千円				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	公共施設の最適化(あまり使われていない施設の活用方法を検討し、効率的に活用していく)				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		旧下山集会所は地域と話し合い解体することになった。セーフティステーションは活用を検討した結果、売却することになった。	旧下山集会所を解体する。セーフティステーションを売却する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 公共施設等総合管理計画を運用すべく、横断的な組織である公共施設マネジメント推進会議、作業部会を設置して公共施設の様々な問題解決を検討実施している。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 営繕係の新設により、大規模修繕を予定している施設の設計・工事監理について、担当課への支援を実施する。これにより、建築工事のレベルアップをはかると共に、修繕計画の適切な管理を行う。
	評価・課題	(進捗状況や課題など) 各施設の修繕枠や大規模修繕の予算配分は、横断的な組織で検討し、全体のバランスを図りながら、中期的な財政計画と関連づけることができた。しかし、担当課における施設管理の意識がまだ低く、今後、営繕係が新設されたことで、定期点検等の運用を検討する必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 本市における全公共施設の維持管理費は、今後30年の推計で合計950億円になる見込みだが、公共施設の維持管理更新を計画的に運用することで、財政負担の平準化、軽減を行う。
	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 公共施設マネジメント推進会議、作業部会を毎年定期的に開催し、問題の抽出、検討、解決策の実施を行っていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S42	施策名	中期財政計画の推進
担当部課	総務部財政課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市中期財政計画、総合計画、行政改革指針
施策開始の背景、経緯等	毎年度、今後5年間の財政見直しを立て、持続可能な予算編成を行うための指針となる中期財政計画を策定する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 今後5年間の財政見直しを立て、財源不足額に対する対策や、地方債・基金の残高管理を行い、持続可能な財政運営を確保する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市の財政運営
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事業を切れ目なく実施し、持続可能な財政運営を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	中期財政計画の推進				
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		長期的な財政運営の指針である長期財政計画を策定した。	歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。	歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。	歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。	歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長期的な財政運営の指針である長期財政計画を策定し、今後実施が想定される庁舎整備などの大規模な事業の財源と長期的な財政状況のシミュレーションを行った。 また、令和4年度の予算編成を含めた見直しとして、R4～R8の中期財政計画を策定した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 総合計画に掲載された事業を財政面で担保するため、今後、総合計画の改定に合わせて長期財政計画を策定し、毎年の見直しを中期財政計画で行うこととした。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 個別施設計画に基づく既存公共施設の更新・改修費用を盛り込んだ中期財政計画とした。今後、計画的に公共施設の改修・更新を行っていく必要がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接の事業費はないが、今後、より効果的な展開となるよう継続的な見直しを行っていく。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、中期財政計画を元に、健全な財政運営を維持していく。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S43	施策名	協働事業の拡大(地域組織への委託、事業主体の確認、市民、市行政、大学、民間の連携拡大)
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市地域協働計画、長久手市大学連携推進ビジョン4U、リモテラス公益施設(仮称)整備基本計画
施策開始の背景、経緯等		市民主体のまちづくりの実現に向けて、市民や市内大学との協働を進めている

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) (1)地域組織への委託、事業主体の確認 (2)市民、市行政、大学、民間の連携拡大
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民全般
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民がまちづくりに関わることで、地域の課題に目を向け、自分たちで地域の課題解決を図ることを目指す

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域組織への委託、事業主体の確認				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		市民団体によるまちセンの管理検討	市民団体によるまちセンの管理検討	市民団体によるまちセンの管理検討	まちセン管理主体育成	まちセン管理主体育成
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	市民、市行政、大学、民間の連携拡大				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		リモテラス公益施設の供用開始	リモテラス公益施設の運用	リモテラス公益施設の運用	リモテラス公益施設の利用促進・運用	リモテラス公益施設の利用促進・運用
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		リモテラス公益施設指定管理料 23,000千円	リモテラス公益施設指定管理料 23,000千円	リモテラス公益施設指定管理料 23,000千円	未定	未定
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 1,025 人	(延べ) 1,080 人	(延べ) 1,200 人	(延べ) 1,320 人	(延べ) 1,560 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) (1)施設管理について、市民活動団体をまちづくりセンターの管理運営を担えるよう育成を試みたが、管理運営の負担が大きい等の理由から、次のステップに進発展しなかった。 (2)持続的な活動等として、観光交流協会による観光案内所運営や国際交流協会による集いの広場やオープン日本語教室などを展開するとともに、四季イベントとして、各季節をテーマにして指定管理者及びリモテラス運営協議会による参加型イベントを行った。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) (1)市民活動団体をまちづくりセンターの管理運営を担えるよう育成を試みたが、管理運営の負担が大きい理由から、次のステップに進めなかった。管理運営の負担軽減を含めた管理運営方法や市民が管理運営の一部を担っていただける方法を検討する。 (2)開館初年度及びコロナ禍の影響もあり、当該施設の来館者は当初目標を達成することが出来なかった。ただし、開館から1年が経過したこと及び隣接する長久手中央2号公園のリニューアルオープンに伴って、今後一体型の施設利用が想定されるため、改善傾向になることが想定される。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) (1)市民活動団体が施設管理を受託できるよう育成を試みてきたが、法人化等に難色を示し、進展していない。地域協働計画策定の中で施設の運営についても協議していきたい。 (2)新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、オープン初年度の中で持続的な市民活動を展開することができた。また、年度の終盤にリモテラス運営協議会を中心に当該施設を活用して活動主体を取り込めるような動きが出てきている。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) (1)地域の活動拠点であるまちづくりセンターを市民活動団体が運営管理することで、市民目線でニーズを把握・反映し、市民活動に参加しやすい環境整備を図ることができる。 (2)各テーマを主要とした交流イベントや日常的な市民活動を見たり、活動体験を通じて、新たな活動主体を生まれる機運が醸成されている。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) (1)まちづくりセンターの運営管理の一部を市民に担っていただくことにより、市民主体のまちづくりの拠点としていきたい。 (2)長久手中央2号公園のリニューアルに伴い、ハード面における受け皿の整備は完了したため、今後はリモテラス公益施設及び当該公園の一体的な活用展開が見込まれる。その中で、意欲的なプレイヤーをより運用面に携わっていただけるようなスキーム作りを指定管理者、リモテラス運営協議会、長久手中央2号公園利用促進協議会、新たな活動プレイヤーと議論して決めていく必要が求められる。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S44	施策名	概ね小学校区単位の行政運営の仕組みづくり
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市みんなで作るまち条例
施策開始の背景、経緯等	少子高齢化、大災害に備え、長久手市みんなで作るまち条例を活用し、市民参加の仕組みづくりを実施する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 概ね小学校区単位の地域で、市民自らが暮らす当該地域のことを考え、主体的に実行できるよう、地域の市民と協議しながら、市民参加の仕組みをつくる。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、地域活動団体、市民活動団体、まちづくり協議会等
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域の課題を地域で解決をする。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	まちづくり協議会設立支援事業				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		地域課題の蓄積・分析及び解決策の実践(合)	地域課題の蓄積・分析及び解決策の実践	地域課題の蓄積・分析及び解決策の実践	地域課題の蓄積・分析及び解決策の実践	地域課題の蓄積・分析及び解決策の実践
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		まちづくり事業交付金	4,597千円	14,300千円	17,500千円	17,500千円
		まちづくり事業交付金				28,000千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 337 人	(延べ) 420 人	(延べ) 480 人	(延べ) 480 人	(延べ) 600 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 【西小学校区まちづくり協議会】毎月定例会を開催。西まち防災連絡会、防災委員会防犯コミュニティパトロール実施。 【市が洞小学校区まちづくり協議会】毎月定例会を開催。ふれあいカフェ(多世代交流)、子育て支援団体連絡会、防犯パトロール隊結成等 【北小学校区まちづくり協議会設立準備会】北小学校区まちづくり協議会設立準備、4つの部会を設置した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 地域共生ステーションに寄せられた地域の課題がまちづくり協議会と共有できる仕掛けとして、北小学校区まちづくり協議会設立準備会の関係者に、地域共生ステーションの受付に入ってもらい、地域の課題発掘に取り組む体制作りを進めている。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 【北小学校区まちづくり協議会設立準備会】 4つの部会を設置し、まずは地域の課題解決をできることがあはれている。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 市民主体で実施している事業であるため、一足飛びに地域課題の解決へ至るわけではないため、少しずつ着実に事業を進めていく必要がある。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後もまちの相談員等を通じた地域の課題発掘を進め、地域課題の分析を実施していく。課題の分析結果を基に、まちづくり協議会で事業化し、実施していけるように、助言等の支援を行っていく。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政改革担当、行政改革担当	
内部意見への回答		